

2018年度入試 合格実績

医系専門予備校 合格者数

“4年連続” No.1

2018年度 903名 \* うち国公立大 113名 \* (2018年4月24日(火)現在)

\*医学部は医学部医学科の最終合格者のみです。 \*イベント参加者や模試のみの受験者は含みません。

合格への近道は “メディカルラボの個別”

**POINT 1. あなただけの個別カリキュラム**

個人の学力や勉強法を正確に診断したうえで志望校に合わせて作成された個別カリキュラムにより、効率よく苦手科目を克服し、得意科目をさらに伸ばすことで「確実に志望校に合格する力」を身につけます。



**POINT 2. プロ講師による1対1授業**

医学部合格のポイントを知り尽くした経験豊かなプロ講師による1対1の授業で、一人ひとりの目標や個性、習熟度を見極めながら確実に志望校合格へ導きます。



**POINT 3. 医学部合格に向けた戦略的対策**

医学部受験に関する圧倒的な情報量をもとに戦略的なプランを構築。試験を間近に控えた直前期には、徹底した過去問題の分析と対策で、合格点を取るための力を強化します。



## »新規生徒募集中

### 動画でわかるメディカルラボ！

~カリキュラム・1対1授業の魅力・学校案内~

詳しくはこちらの  
QRコードを  
読み取ってください！



お問い合わせは、お近くの校舎又は  
ホームページにてお気軽にご連絡ください。

メディカルラボ



【京都校】

〒604-8134 京都市中京区六角通烏丸  
東入堂ノ前町245



【大阪梅田校】

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1  
グランフロント大阪 北館タワーB13F  
TEL. 0120-456-323



【大阪なんば校】

〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70  
なんばパークスタワー30F

TEL. 0120-456-839



【あべのハルカス校】

※2019年3月開校  
〒545-6028 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43  
あべのハルカス28F

TEL. 0120-456-839



【神戸校】

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-8  
三宮プラザWEST 3F

TEL. 0120-456-843

# 大阪医科大学 仁泉会ニュース

|   |
|---|
| 仁泉会ニュース 第50巻第1号   |
| 発行所   |
| 〒569-8686 高槻市大学町2-7   |
| 電話 FAX  |
| 072-682-6166 072-682-6636                                       |
| 発行者   |
| 河野 公一   |
| 発行部数  |
| 6,100部  |
| URL   |
| <a href="http://www.jinsenkai.net">http://www.jinsenkai.net</a> |

謹賀新年



# NEW YEAR SPECIAL OFFER

2019年の幕開けを飾る特別なオファーをご用意しております。



## 仁泉会ニュースをご覧の方限定の特典

▶▶ 2019年3月末までに新車をご購入・ご登録されたお客様限定 ◀◀

**JAGUAR F-PACE 電動サイドステップ(52万円相当)プレゼント**

**RANGE ROVER VELAR スタッドレスタイヤ&ホイールセット 半額クーポン**

**RANGE ROVER EVOQUE 下取り50万円プラスクーポン(限定車除く)**

人気の F-PACE・VELAR・EVOQUE をはじめ、各車台数限定で特典つき車両をご用意しております。

※他の特典と併用はできません。

※詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

※試乗・資料請求は

QRコードから ▶ JAGUAR



JAGUAR



LAND ROVER

ショールームへのご来場を心よりお待ち申しあげております。

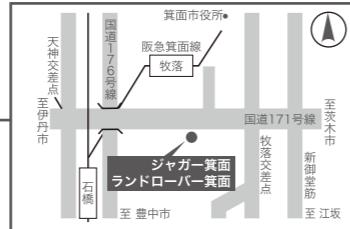
**新年は1月5日から営業しております**

Please Contact Us JAGUAR / LAND ROVER



ジャガー箕面  
ランドローバー箕面

〒562-0043 箕面市桜井3-13-7  
TEL 072-721-8883  
定休日 水曜日  
営業時間 10:00-19:00



www.hakko-group.co.jp  
HAKKO CAR GROUP  
hakkocargroup

### P4 新年のご挨拶

大阪医科大学 仁泉会理事長 河野公一／学校法人 大阪医科大学理事長 植木 實／大阪医科大学学長 大槻勝紀  
静岡県支部長 吹田浩之／愛知県支部長 山本明和／京都仁泉会会長 松本恒司／大阪府支部連合会会長 霜野良一  
西区支部長 浅野彰彦／港区支部長 奥村隆司／生野区支部長 村田高穂／阿倍野区支部長 福本敏子  
住吉・住之江区支部長 濱崎憲夫／高槻市支部長 保田浩／吹田市支部長 丸川治／東大阪市支部長 大西洋一郎  
堺市支部長 村木宏要／貝塚市支部長 川崎康寛／和歌山県支部長 田伏俊作／兵庫県支部連合会会長 飯塚信行  
宝塚市支部長 辰井光／岡山県支部長 小出尚志／島根県支部長 中島徹／香川県支部長 石田達也／愛媛県支部長 井関亮甫  
高知県支部長 濱脇弘暉／第 18 期評議員 武井公雄

- |     |   |                              |
|-----|---|------------------------------|
| P28 | 受賞報告 黒岩敏彦先生 (学 28 期)  | 池田直廉 (学 49 期)                |
| P29 | 受章報告 藤岡正信先生 (学 23 期)  |                              |
| P30 | 本格始動した新専門医制度について考える星賀正明先生 (学 34 期) インタビュー                         |                              |
| P32 | 学会報告 第 6 回 JSURT 研究会開催のご報告  | 東治人 (学 37 期) 鳴海善文 (学 30 期)   |
|     | 2019 年広島県支部総会   |                              |
| P33 | 事業報告 山口県懇談会   | 小野誠治 (学 28 期)                |
|     | 支部だより   |                              |
| P34 | 平成 29 年度仁泉会愛知県支部総会  | 山本明和 (学 21 期)                |
| P35 | 仁泉会阿倍野支部総会と懇親会の報告   | 福本敏子 (学 24 期)                |
| P36 | ご案内第 20 回日本正常圧水頭症学会テーマ「新たな領域へBEYOND THE HORIZON」                  |                              |
| P37 | 平成 30 年度仁泉会住吉・住之江支部総会および懇親会の報告                                    | 霜野良一 (学 28 期)                |
| P38 | 学 33 期 (昭和 59 年卒) 同窓会:「アラウンド還暦祭々会」のご案内                            |                              |
| P39 | 河内長野支部交流会   | 櫻井幹士 (学 45 期)                |
|     | 第 23 期生 (昭和 49 年卒) 同窓会開催のお知らせ                                     |                              |
| P40 | 平成 30 年度 仁泉会和歌山県支部総会のご報告  | 湯川裕史 (学 29 期)                |
| P42 | 平成 30 年度尼崎伊丹支部総会  | 鈴木克司 (学 31 期)                |
| P44 | 平成 30 年度仁泉会西宮支部総会報告   | 岩下敬正 (学 36 期)                |
|     | クラス会だより   |                              |
| P45 | 平成 30 年度 41 会 (学 15 期 昭和 41 年卒) 同窓会                               | 菊田匡 (学 15 期)                 |
| P46 | 46 会卒後 47 年総会並びに懇親会報告   | 安藤嗣彦 (学 20 期)                |
| P47 | 第 32 回大阪医大女医会 各科医療勉強会のご案内とご連絡先登録のお願い                              |                              |
| P48 | 51 卒クラス会  | 大森英夫 (学 25 期)                |
| P49 | 学 27 期生 卒後 40 周年記念同窓会 (第 11 回同窓会) 開催報告                            | 大槻勝紀 (学 27 期)                |
| P50 | 平成 31 年度仁泉会学術集会助成申請について   |                              |
|     | 仁泉ひろば   |                              |
| P51 | GAMBIT  | 佐々木進次郎 (学 8 期)               |
| P52 | 役員交代  |                              |
| P53 | 大阪医科大学ラグビー部仁泉ラガーカラーブラウス 90 周年記念総会ならびに西医体優勝報告 本出肇 (学 34 期)<br>会員著書 |                              |
| P54 | 井尻慎一郎先生 (学 31 期)  |                              |
| P55 | 飯島崇史先生 (学 25 期)   |                              |
| P56 | 新聞切抜 板野聰先生 (学 28 期)   | 桑原公章 (学 10 期)                |
| P57 | 新聞切抜 池原伸直先生 (学 46 期)  |                              |
| P58 | 冊子切抜 神吉佐智子先生 (学 48 期)   |                              |
| P59 | 東雲出張版   | しょうこ & たまみ (大阪医科大学 4 回生・文芸部) |
| P60 | 新聞切抜 川西洋平先生 (学 54 期)  |                              |
| P62 | まんが 第 35 回スペシャル・拡大版   | 危険ポン太ックル (学 31 期)            |
| P64 | エッセイ 「歴史を彩った女性達 (15)」   |                              |
| P65 | 編集後記  | 西村保 (学 4 期)                  |

## 新年のご挨拶

**大阪医科大学仁泉会**

**理事長 河野公一（学21期）**

新年明けましておめでとうございます。会員諸先生には、ご家族の皆様共々ご健勝にて穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より仁泉会の活動につきまして、種々ご助力ご助言を賜り厚く御礼申し上げます。

仁泉会は一般社団法人大阪医科大学仁泉会として新定款の下、5年前より新たな歩みを始め、その公益目的である、学術振興および研究助成事業、良医育成のための医学部学生に対する奨学金貸与事業、また一般事業である、会員諸先生の福利厚生への支援や母校の発展向上に寄与する各種事業など、会員諸兄のご助力のもと推進してまいりました。

理事長を拝名して三期目の方略として、安藤嗣彦（学20期）、大藪博（学22期）両副理事長を中心として新役員24名の会務分掌を明確にし、総会でお認めいただきましたこれら事業計画を円滑に進めるべく組織強化に努めてまいりました。

そのような中、全国で活躍されている各地区的会員諸先生のより活発な交流と、今後の活動に関するご意見をお聞かせ願うことを目的として、これまで東日本地区合同の仁泉会総会を東京で、四国地区総会を高松で、また岐阜、愛知、三重県を中心に長野県、静岡県の先生方の参加も得て名古屋で支部総会（新三水会）を開催させていただきました。その後金沢で北陸三県（福井、石川、富山）合同の支部総会を、福岡で九州地区合同の支部総会を、一昨年には米子で島



根、鳥取の先生方にお集まりいただいて山陰地区合同の会を開催させていただきました。そして昨年10月に、しばらく開催が途絶えておりました山口県支部懇談会を新山口で催すことが出来ました。

それらに加え多くの地区総会が開催されました、これらの会を通じて会員諸兄のご活躍をつぶさに感じることが出来、また今後の持続的な会の開催を希望される声が多く寄せられ、同窓会活動に対して数々の貴重なご意見を直に賜りましたことは、大変有意義であったと思っております。これら支部総会の開催にご尽力いただいた各地区役員の先生方にあらためて御礼申し上げます。

一方、定款改定に伴うもう一つの課題でありました学生会員（いわゆる準会員）制度の創設ですが、昨年4月の医学部新入生から導入させていただきましたが、入会金は1万円とし、従来卒業後に徴収しておりました入会金はいただかない。また年会費は3000円程度とし入学時に6年分を一括徴取させていただき、将来これらの原資を基に学生への新たな支援制度に結び付けたいと思っております。

近年、本学新入学生の8割近くが近畿地方それも地元大阪、兵庫、京都に集中しており、この傾向は今後益々強くなるものと思われ、それに伴っていわゆる地方会会員の先生方の高齢化が進み、各支部会の開催が一層困難な状況になっています。

今後は前述しましたように数県にまたがる合同総会を開催していただき、各支部の更なる活性化、会員相互の親睦と情報共有をお願いして参る所存です。

各期クラス会や支部会開催の節には本部事務局にまでご一報いただければ幸いです。

今後本部理事会では定款改定に伴う各種規定の新設や見直し、理事長をはじめとする本部役員等の任期制の検討（これはできるだけ多くの先生方に参画していただくことが目的です）、

更には本学開学100周年に向けた仁泉会の新たな活動等々、取り組むべき課題が山積しております。

これらについては次回の総会などの場で逐次ご報告してまいります。

今年も引き続き会員各位のご支援、ご助力をお願い申し上げますとともに、会員並びにご家族の皆様が今年一年ご健勝でご活躍されることを心より祈念申し上げます。

2019年元旦

## 新年のごあいさつ

－大学統合・病院新本館建築の進捗－

**学校法人大阪医科大学  
理事長 植木 實**

明けましておめでとうございます。

仁泉会の皆様におかれましては、良い新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



情報社会が益々発達し、ツイッターによる身勝手な情報やフェイクニュースが飛び交い、サイバー攻撃も激しさを増す国際社会では、アメリカのトランプ大統領、中国の習近平国家主席やロシアのプーチン大統領など大国の首脳達は自国第一主義を掲げ、近隣国や中小諸国に大きな影響を与えています。

一方、本邦は歳入不足を補完するために今年10月の消費税増税を目指していますが、断続的に各地で発生する大きな自然災害の復旧・救済費用、年々増加する社会保障費を調達せねばならず、財政的に困難な道を歩んでいます。本学が立地する高槻市は、昨年6月の大坂北部地震に加え、8月末及び9月上旬の台風ではかな

りの被害を受けました。大学病院及び大阪薬科大学は建物の一部損壊を受け、さらには災害の後に病院は一時的に受診者数の減少が見られました。しかし、教職員が協力して種々対応に当たり、学校法人としては大事には至らず、復旧致しました。

法人合併して3年目を迎えた学校法人大阪医科大学は、順調に運営されており、大きな事業として平成28年に中央手術棟が竣工・開院、平成30年には本法人が夢を託す関西BNCT共同医療センターが竣工し、PET-CT検査を開始しましたが、BNCTによるがん治療は認可が下りる来年6月頃に稼動する予定です。また、平成28年から始まった高槻中学校・高等学校の全面キャンパス整備事業は、約75%が完成し、現在、Ⅲ期工事として本館と正門等周辺整備が進められており、2019年度中に完了する予定で、素晴らしい教育環境が整います。

初、大阪医科大学は、創立100周年記念事業として今年から大学病院全建て替え事業の主柱となる高層の病院新本館（A棟・B棟）建築が開始されます【図1】。建築手法はデザインビルド（設計施工一括方式）を採用し、PM（project management）として日揮株式会社を選び、建築会社（ゼネコン）として清水建設株式会社を選定し、仮契約しました。両社の設計部が協力して設計を完成させ、今年3月には総工事費決定とともに同ゼネコンと正式に契約を締結する運びとなっています。その後、臨床講堂棟と5号館を解体してA棟を建築し、次いで中央診療棟を解体してB棟を建築することになります。尚、病院7号館はほぼそのまま残し、6号館については耐震化して1階の精神神経科とリハビリテーションセンターは改装して残し、上層階は管理棟とする計画であります。

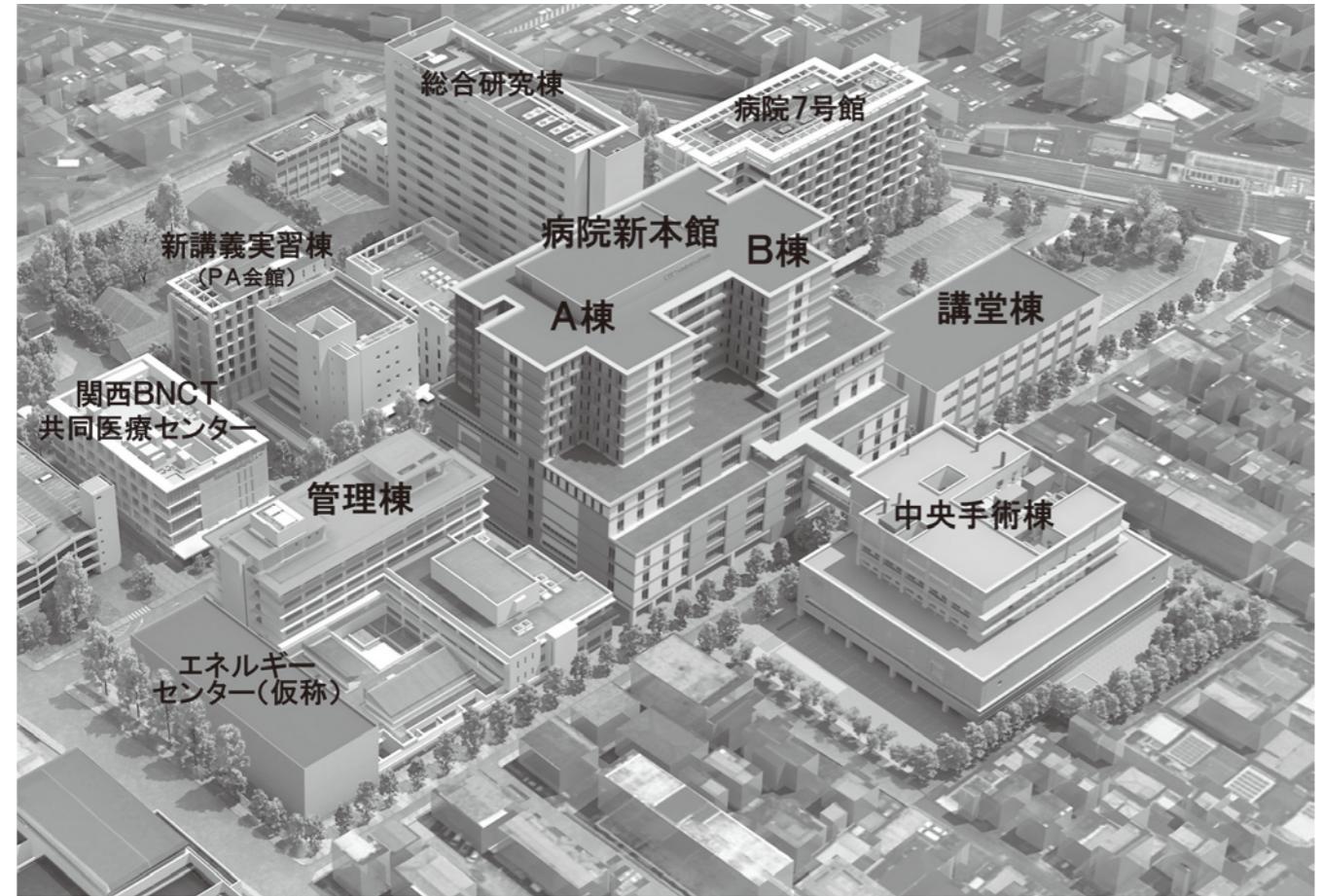
また、我々の先輩である学2期生田邊治之先生が、学5期生芳川仙作先生のご助力の下、地域医療の柱として情熱を込めて設置し、高槻

市を中心とする三市一町が運営する三島救命救急センターは、老朽化と耐震性の問題から建て替えの必要性が高まっており、これを機に大阪医科大学の病院新本館内への移転を打診され、本法人理事会の同意を得て、同センターの移転に関する基本協定書を手交しました。A棟の設計にはその三次救命部を含めた内容で進められています。その移転後は、本学が同センターの運営を担うことから、大学病院は三次救命にも診療・教育研究範囲を広げることになりました。この創立100周年に向けた一大事業を推進するにあたり、募金活動を行っておりますので、皆様におかれましてはよろしくご理解のほどお願い申し上げます。

一方、大阪医大と大阪薬大との法人合併の目的でもある大学統合は、財務システムの統一化が済み、現在、人事統合についても法人事務局総務チームを中心に活発に作業が進められており、教学・研究面でも9つのワーキンググルー

ープで検討が行われています。両大学が1つとなるために、文部科学省の指導の下に手続きを行う必要があり、様々な手順を踏んで進めてまいります。大学統合の時期としましては、去る11月の理事会・評議員会で2年余り後の2021年4月を予定と定めました。

以上、重要な3事業について述べましたが、その他にも多くの事業・事案が同時並行で進んでいます。特に、本法人が病院新本館建築の一大事業に着手するに際し、まず法人体制を刷新し、組織を強化する必要があり、新しい人事として昨年12月1日付で濱岡純治副理事長には理事長補佐・副理事長に就任、大阪薬科大学の積極的運営と責任を担いつつ、大学統合等の重要事案を推進していただきます。また、同日付で佐野浩一（学29期生）常務理事には副理事長に昇格、長年にわたる病院新本館の建築工事、三次救命救急や休日・夜間診療所の移転に関わる行政との交渉並びに国が推進する医師の働き



【図1】

大阪医科大学本部キャンパス完成予想図

方改革等に責任を持って取り組んでいただき、業務を遂行していただくことになりました。本紙面をお借りして、この度の人事につきまして仁泉会の皆様方にご報告申し上げる次第です。

学校法人大阪医科大学は、Society5.0社会に向けたスーパスマートな（高い機能を持つ）教育・研究・医療へと舵を取り、法人の確固たるガバナンス・コンプライアンスの下、Society5.0の創成に挑戦し、サステナビリティ活動を行いつつ、目標とする社会の公器として揺るぎのない評価を得てゆきたいと願っております【図2】。

仁泉会の皆様におかれましては、法人の行う多くの事業や方向性にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の本年のご健康と一層のご活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



【図2】



## 2019年新年のご挨拶

**大阪医科大学  
学長 大槻勝紀（学27期）**



新年明けましておめでとうございます。仁泉会の皆様にとりまして健やかな新春を迎えたこととお慶び申し上げます。

学長に就任しまして早3年半が過ぎました。この間の教育・研究業績を振り返ってみたいと思います。就任時に5つの教学改革方針 Innovation（教育・研究改革）、Translational Research（橋渡し研究）、Social Contribution（社会貢献）、Globalization（国際化）、Open Mind（自己改革と情報の共有化）を示しました。

Innovation：3年前から医学部と看護学部の教職員から構成される教育戦略会議を毎月一度開催し、教育のPlan、Do、Check、Action（PDCA）サイクルを実施しています。これまでの教育改革を更に遂行するために昨年、Institutional Researcher（IR）を採用し、教育上の様々な情報やアンケートの処理と分析を担当してもらっています。

教育センターを中心に2016年6月に第48回日本医学教育学会大会を開催し、2018年4月には医学教育分野別評価（国際認証）を受審し、高い評価で認定を受けることができました。これもひとえに教職協働の成果として深く教職員関係者に御礼申し上げます。また私立大学等改革総合支援事業ではタイプ1（教育の質的転換）が2年続けて採択され、大学の経常費補助金獲得に寄与しています（資料1）。

本学の教育の特徴として多職種連携教育（Interprofessional Education:IPE）が挙げられます。医学部と看護学部が合同で新入生学外合

## 改革総合支援事業調査 選定状況（平成25年度～29年度）

|        | タイプ1                              | タイプ2                             | タイプ3                            | タイプ4                              | タイプ5                            |
|--------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 平成25年度 | 選定<br>得点：80/100点<br>(選定基準：68点以上)  | 不選定<br>得点：25/60点<br>(選定基準：34点以上) | 選定<br>得点：36/85点<br>(選定基準：29点以上) |                                   |                                 |
| 平成26年度 | 不選定<br>得点：55/100点<br>(選定基準：28点以上) | 不選定<br>得点：17/65点<br>(選定基準：45点以上) | 選定<br>得点：28/50点<br>(選定基準：27点以上) | 不選定<br>得点：19/100点<br>(選定基準：46点以上) |                                 |
| 平成27年度 | 不選定<br>得点：64/106点<br>(選定基準：38点以上) | 不選定<br>得点：16/56点<br>(選定基準：40点以上) | 選定<br>得点：29/50点<br>(選定基準：29点以上) | 不選定<br>得点：18/98点<br>(選定基準：49点以上)  |                                 |
| 平成28年度 | 選定<br>得点：92/102点<br>(選定基準：77点以上)  | 申請なし<br>得点：/58点<br>(選定基準：40点以上)  | 選定<br>得点：41/58点<br>(選定基準：34点以上) | 申請なし<br>得点：/97点<br>(選定基準：66点以上)   |                                 |
| 平成29年度 | 選定<br>得点：92/96点<br>(選定基準：79点以上)   | 不選定<br>得点：33/51点<br>(選定基準：36点以上) | 選定<br>得点：41/59点<br>(選定基準：38点以上) | 不選定<br>得点：15/97点<br>(選定基準：62点以上)  | 選定<br>得点：61/86点<br>(選定基準：76点以上) |

資料1

ました。今後も入試に関しては透明性と公平性に留意して素晴らしい学生を入学させていきたいと思います（資料2）。

残念なことに昨年は本学学生が教卓パソコンを不正利用し、一部患者情報を含む大量のデータを盗み警察に逮捕されました。授業のスライドデータを欲しかっただけであったにしろ、学生に対する教育が十分になされなかつたことや情報システムの甘さが原因として挙げられました。今後は一層、学生、教職員に対して情報リテラシー教育を行っていきます。

宿、医療人マインド、医看融合ゼミ、医看夏季地域医療実習を行ってきました。3年前から法人合併しました大阪薬科大学の薬学部学生も加わり医療系によるIPEを実施しています。

医師国家試験については3年前96%、2年前82%、昨年99.2%で、隔年現象にならないよう昨年の高い合格率を期待しています。看護学部の看護師、助産師および保健師の国試の合格率はほぼ100%と高く、今後も維持していきたいと考えています。

医学部入試については高大接続の一環として、学力の3要素を問うAO入試「建学の精神入試」を昨年より実施しています。知識はセンター試験で、思考力、判断力、表現力を小論文や面接で、多様な人々と協働して学ぶ態度を高校の評価表を参考にして行っています。2021年1月からセンター試験に替わり大学入学共通テストへ移行しますが、学力の3要素を問うAO入試の重要性が増してくると考えられます。昨年の東京医大問題に端を発して、文科省は私学だけでなく国立や公立大学の医学部80大学で入学試験制度の実地調査を行っています。一般入試では一部の私学や国立大学で女子や多浪生に対する差別や、地域枠入試での不正な加点が報道されていることはご周知のことだと思います。本学においては昨年9月に文科省の立ち入り検査があり、特段の指摘もなく終わり

|          | 女子   |      | 現役生(男女) |     | 卒後3年以上(男女) |     |
|----------|------|------|---------|-----|------------|-----|
|          | 募集定員 | 入学者数 | 内数      | 割合  | 内数         | 割合  |
| 平成26年度入試 | 110  | 110  | 33      | 30% | 18         | 16% |
| 平成27年度入試 | 112  | 111  | 31      | 28% | 20         | 18% |
| 平成28年度入試 | 112  | 112  | 40      | 36% | 19         | 17% |
| 平成29年度入試 | 112  | 113  | 34      | 30% | 18         | 16% |
| 平成30年度入試 | 112  | 112  | 38      | 34% | 24         | 21% |

資料2

Translational Research：学長就任時より、懸案であった研究機構の機能強化を目的として、大学院から研究機構を切り離し、研究支援センターとして独立させ、その下に事務組織である研究推進課を設置し研究体制の一本化を行いました。

医学部や看護学部教職員からなる研究戦略会議を月に一度開催し、研究に関するPDCAを回しています。

2015年から2018年までUniversity Research Administrator (URA) を採用し、科研費の採択率の向上や大型外部研究資金（私立大学研究ブランディング事業やAMED）の獲得に貢献していただきました。科研費の採択率は35%で、全国平均25%を超え、単科大学ではほぼトップのところまできました。特に看護学部教員の多くは科研費を獲得しています（資料3）。

今後は医療用素材の開発やTranslational Researchなどの研究拠点を特化し、本学の研究の独自性を發揮していきたいと考えています。さらに研究の質を高めていくために、多くの研究者からのニーズの高かった医療統計学の

専門家を2名採用しました。現在、研究者と一緒に研究のplanningや統計分析に関わっています。

昨年は私立大学等改革総合支援事業では、タイプ1、3（産学連携：5年連続）、5（プラットフォームの形成）の3部門が採択されました（資料1）。

科研費 H23年度～H30年度  
科研費獲得件数・金額推移(大阪医科大学)

| 科研費         | H23年度～H30年度 |         |         |         |         |         |         |         |
|-------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|             | H23年度       | H24年度   | H25年度   | H26年度   | H27年度   | H28年度   | H29年度   | H30年度   |
| （新規）採択件数    | 33          | 36      | 45      | 24      | 33      | 57      | 66      | 64      |
| （新規+継続）採択件数 | 90          | 95      | 115     | 109     | 111     | 121     | 157     | 165     |
| 交付内定金額      | 151,398     | 164,580 | 176,930 | 164,190 | 168,870 | 212,160 | 237,510 | 243,620 |



資料3

Social Contribution：昨年、高槻市と「高槻市と本学の共同サステナビリティ事業」の協定書を交わしました。内容は3つの事業（医工薬連環科学事業の継承、口腔保健事業と認知症の専門職育成事業）です（資料4）。特に口腔保健事業では、健康寿命の延伸を目的として「たかつきモデル」を提唱し、現在、オーラルケアやインター保連歩などに多くの市民の参加をいただいている。高槻市、高槻商工会議所、高槻市の医師会、歯科医師会や薬剤師会等関係者の協力に感謝いたします。

本学は5年前から兵庫県に、4年前から高知県に地域医療を支援する目的で医師の派遣を行っています。兵庫県と高知県からいただいた補助金により地域総合医療科学寄付講座を設置し、総合診療科とともに、整形外科、麻酔科や4つの内科の教室の御協力を得て医師派遣事業を行なっています。

ここ最近、大規模自然災害が日本で起きて

ます。建学の精神から本学はこれまで東日本大震災、熊本地震や平成30年豪雨などにJMATやDMATを送ってきました。特に昨年は本学においても大阪北部地震や台風21号の影響により、病院経営や学事に多大な影響を受けました。仁泉会会員の皆様の中にも災害に見舞われた方々が多数おられるとお聞きしています。心よりお見舞い申し上げます。



資料4

Globalization：本学が最も改革が求められている項目です。これまで中山国際医学医療交流センター（中山センター）が中心となりハワイ大学、アムール医科大学やマヒドン大学など10カ国以上の大学と交流を重ねてきました。しかし文科省が求めている国際化のハードルは高く、単なる2週間程度の短期留学ではなく、学部学生や大学院生を対象に単位互換を目的とした長中期の留学が必要です。そのため中山センターの組織改革に注力し、2年前に中山センターに専任講師1名を、昨年は主任事務職員を1名増員しました。今後は学生交流を促進し、本学で外国人留学生が講義や実習を受けているのが当たり前という大学にしたいと考えています。そのためにも学部学生や大学院生の単位互換や単位認定について留学先の大学と協定を結んでいく予定です。

**Open Mind**：バイオリニストの五嶋龍のエッセイの一部を紹介します。彼はニューヨーク育ちで、ニューヨークの街角の壁面に書かれていた言葉、If you see something, say something. にとても共感し、現在も貧しい人々のために世界中でチャリティーコンサートを開催しています。その言葉を受けて大阪医科大学 HP の学長室 Open Mind に If you see something, say something. So, change yourself and change OMC together. を掲げ、本学のすべてのステークホルダーとともに世界有数の医療系大学をめざしていきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

#### 本年度の学長の目標

- 1) 2021.4.1 に向けて大阪薬科大学との大学統合を具現化するだけでなく、新大学としての独自性を明らかにする。
- 2) 国際化を進め、単位互換や単位認定による交換留学生を増やす。

最後になりましたが仁泉会の皆様方のご多幸とご健康を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新春のご挨拶

### 静岡県支部長 吹田浩之（学36期）

新年、明けましておめでとうございます。昨年の高槻市は地震と巨大台風という2つの大災害の発生があり、大学関係の皆さまにおかれましては多大なご苦労があったものと思います。たいへん遅くなりましたが、お見舞いを申し上げます。

それに関して不思議なことを体験しました。地震の前日に川西市の「みつなかホール」で私のギターの先生である吉川二郎先生のコンサートがあり、合奏で出演することになったため日帰りで川西市に行きました。その道中に乗ったJR 宝塚線の電車が行きも帰りも小動物が線路内に飛び出したため到着が遅れたのです。帰路では危うく新幹線に乗り遅れそうになり、かなりドキドキしました。今にして思えば、地震の予兆だったのではと考えています。

私事ですが昨年6月に静岡市静岡医師会の副会長に就任し、委員会や病院との会議で忙しい日々を送っています。毎年恒例の移動理事会で昨年は滋賀県大津市に行きました。夕食の宴会に大津市医師会の会長、副会長さんを招待して会食し、それぞれの医師会の活動や問題点など報告しあい、今後の連携や親睦を誓い合って楽しい時間を過ごしました。これからも静岡医師会は移動理事会で日本中の医師会と親睦を図っていく計画です。お声をかけていただける郡市医師会がございましたらご連絡をいたければ幸いです。

昨年は静岡市において後期研修医がいなくなる困った事態がおきました。総合病院が5つありますましたがみんな困っています。これも政令指定都市なのに医学部がないことに起因します。以前に北陸三県と静岡県を比較しましたが、今回は四国4県と比較してみました。人口は静岡県が

3,656,279人、四国4県で3,775,765人とほぼ同等です。四国には医学部が4つありますが、静岡県は浜松医大のみです。新たな医大が作られる計画もないで、静岡県では研修医を集めるために卒後に静岡県で働いてくれる医学生に奨学金を貸与する制度を設定しました。この制度を利用し、川崎医大、近畿大医学部で数年前より静岡県地域枠が作られました。なんと昨年度からは関西医大でも静岡県地域枠が作られました。静岡県出身者でなくてもこの制度に申請することができます。ぜひ、わが大阪医大も静岡県を支援していただければ幸いです。静岡話はこれぐらいにして、今年も仁泉会の皆さまのご健勝とご発展を祈念して新年のあいさつを終わります。

### 仁泉会愛知県支部長に就任して

### 愛知県支部長 山本明和（学21期）

平成30年3月に仁泉会愛知県支部総会で、選出されました。

学21期は昭和47年に卒業した学年で、入学する一年前に医学進学課程ができた時になります。

仁泉会と関わりをもつようになったのは平成に入ってまもなくの頃と記憶しています。以後会計を任せられました。当時はまだ高等医専卒の先輩方が会員の3分の1以上を占めていて、総会の出席率も高い状況でした。

さて支部長となって初仕事は仁泉会本部の評議員会及び総会への出席でした。議事の中に他府県での活動報告もあり、多々の支部で支部総会への出席や会費の納入の減少に頭を痛めているのが現状でした。

懇親会の席では来賓として大阪薬科大学同窓会会长が挨拶に立たれました。これから少しづ

つ交流が広がっていきます。後日、同大学同窓会東海支部より総会に招待されました。いずこも若い人の参加は少なく、会の維持に苦労している状況は似ています。お互いの関わりは今後とも必要とされるためこれを機会に交流を広げてゆくことにしました。

また以前より同じ悩みを持つ東海三県の支部長で話し合い、愛知県、岐阜県、三重県プラス長野県で新三水会を立ち上げ、隔年ごとに持ち回りで懇親会を行うことを決め、数年前より実施しています。

普段では会う機会のない旧友や先輩、後輩との語りの場として気軽に参加して下さい。

## 新年のご挨拶

### 京都仁泉会会長 松本恒司（学26期）

新年あけましておめでとうございます。今年も仁泉会会員の皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

昨年は大阪北部地震、夏の酷暑、大豪雨、大型台風など京都も直撃を受け翻弄されました。鴨川の濁流、嵐山の渡月橋の被害などがテレビ中継され、自然災害の凄まじさを実感しました。ただ、京都では会員からの大きな被害は報告されず幸いでした。

京都仁泉会では今年度も総会、5月、11月、2019年2月の3回の学術講演会を開催、また、恒例の8月最終日曜、26日の「音楽の夕べ」（今年は女性コントラバス奏者：小林秀美さんとピアノのコラボ）は、ご家族も多数参加されて和やかな宵を楽しみました。また、ゴルフコンペは11月18日（日）（瀬田ゴルフコース）で行われました。

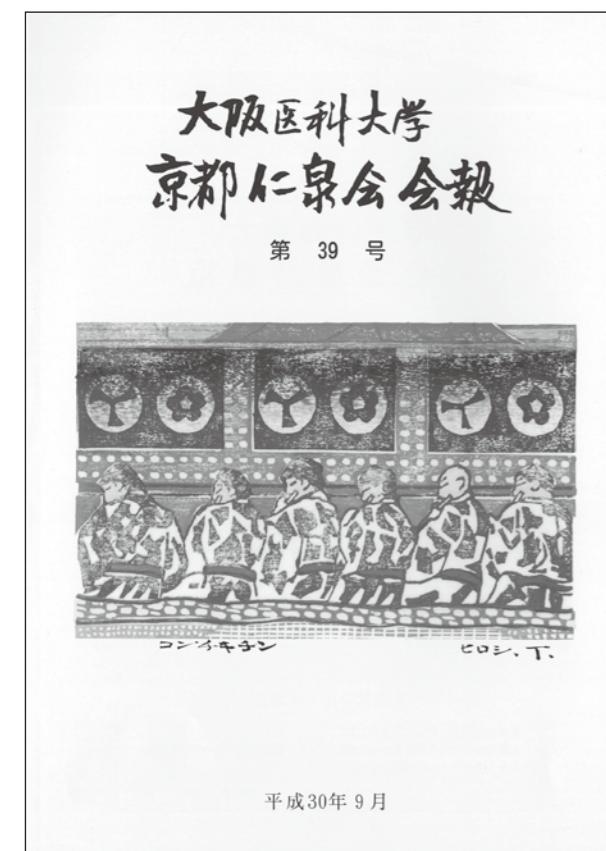
仁泉会本部だけでなく、大阪薬科大学同窓会との支部レベルの交流が進んでいます。10月14日（日）、大阪薬科大学の京都支部会総会、

講演会、懇親会があり、京都仁泉会から私と森本博子副会長が参加し、薬大同窓会長 武枝様、京都府支部長 中嶋様など多くの方との交流を深めることができました。

さて、年一度、発刊している「京都仁泉会会報」も39号になります。表紙はいつものように田代博先生の版画、今年は「宵山の山鉾」のワシショット。実は京都医芸祭ではもっと大胆な女性像を出品されたとか、来年は乞うご期待です。

以上、新年のご挨拶と京都仁泉会の近況を報告させて頂きました。また、京都仁泉会として、若い会員の参加を期待しております。

今年もよろしくお願い申し上げます



## 新春のご挨拶

**大阪府支部連合会会長  
霜野良一（学28期）**

仁泉会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、平昌冬季オリンピックでの羽生選手や女子スピードスケートの金メダル獲得、サッカーワールドカップでの活躍に日本中が沸いた後は、大阪北部地震、西日本豪雨による災害があり、夏には連日35度を越す猛暑、9月には大阪は2度にわたる台風の直撃があり、特に9月4日の台風21号では大阪南部では停電など甚大な被害がありました。地震、台風で被害にあわれた先生方にはお見舞い申し上げます。

さて、私は昭和54年に卒業後、解剖学教室、第2内科学教室を経て、平成12年より住吉区にて内科・消化器科を開業しています。平成15年に大阪府連の学術担当の理事および住吉・住之江区支部長、平成27年に府連の副会長となり、平成30年5月の理事会にて会長を拝命致しました。会長としましては会員相互の融和、懇親および支部会活動の活性化を第一に考え、昨秋より支部長不在支部や未活動支部に働きかけています。

第二に、府連の存在や活動状況をより知っていただくために、昨年10月には阿倍野区支部会、11月には堺市支部会の懇親会に参加させていただき、昨年の5月の仁泉会総会のことや今後の府連の目標などをお話し致しました。その他、大阪薬科大学の先生方との合同会（薬科大学側の意向はまだ聞いていませんが）、河野仁泉会理事長が平成30年度より仁泉会学生会員制度を作られたので、支部会にその地区在住の学生を招待することや府連ニュース（会員の近況報告や趣味などを掲載）の発行を企画しています。

どこまで出来るか分かりませんが、副会長の大西洋一郎先生、御前治先生、顧問で前会長

の佐藤公彦先生をはじめ理事の先生方のご意見を聞きながら少しづつ達成できる様頑張りたいと思いますので、会員の先生方にはご支援、ご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

## 生まれ変わりの波

**西区支部長  
浅野彰彦（学32期）**

2019年は平成という元号の最後の年になることが決まっています。昭和33年生まれで58年に本学を卒業して、駆け出しの頃は「ごーはち卒です」と自己紹介していたのが、いつの間にか後輩に「へーよん卒です」と挨拶されるようになっていました。次の元号がどうなるかまだ分かりませんが、三世代目の呼び方がどうなるのか楽しみでもあります。

私の勤務する病院は昨年のGWに病院の移転があり、日生病院から日本生命病院に名称も変わりました。昨年は私も還暦を機に病棟管理を後輩の仁科先生にバトンタッチして、内科外来と予防医学センターでの人間ドックを主な仕事とするようになっておりますが、旧病院は昭和57年に移転開設されていますので、ちょうど私の勤務医人生と重なることもあり何かと感慨深いものがありました。

そんな昨年には学32期の同級生のN女史が9月に高槻市内で開業されました。「お子様も手が離れご両親の介護も終えて、ようやく医師として自分の想いのままに仕事ができる時間ができたから」という開業理由に大いに刺激されました。

人生の中間点をすぎ医師としても中終盤的な気分となっていましたが、これではイカン！自分に活を入れようと昨年11月に夫婦で映画を見ることにしました。実は私の2歳年下の妻は女子高生の時にクイーンの大坂公演（フェスティバルホール）に際して、宿舎のリーガロイ

ヤルホテル前で出待ち・入り待ちに詰めていた前科があります。そこで夫婦で青春時代に戻ろうかと誘ったわけです。チケットはシニア夫婦割引で通常3,600円のところを2,200円にしてもらいました。「ボヘミアン・ラプソディ」はいまさら説明することもないフレディ・マーキュリーの伝説的音楽映画です。フレディが人種的・性的なコンプレックスを乗り越えて自我を確立し、やっと信頼できるパートナーを得てHIV感染で限られた残りの人生を過ごせるようになるクライマックスに夫婦して涙しました。

思えば今上天皇陛下のご成婚が昭和34年、新天皇となる皇太子殿下のご誕生が昭和35年です。これから天皇の重責を担われる現皇太子殿下と二つしか年齢は変わらないのだと自分に言い聞かせて、生涯一捕手ならぬ生涯一医師で頑張ろうと新年に誓う次第です。

## 新年のご挨拶と 支部会だより

**港区支部長  
奥村隆司（学31期）**

新年明けましておめでとう御座います。仁泉会の会員の皆様に於かれましては健やかに新春をお迎えのことと存じます。私は昨年度の支部長であった西山和夫先生（学25期）からバトンタッチを受け今年度よりこの役職を拝命いたしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。今回初めて仁泉会ニュースで当支部のご紹介になるかと思います。

仁泉会港区支部は現在、会員12名（A会員のみ）と小さな支部でありますが、港区医師会はA会員が約70名、B会員が約40名ぐらいですので比率的には多いかと思います。行事としては年1回の総会（懇親会）だけしか行っておりませんが、以前より地区医師会の会長をは

じめ多くの医師会役員を輩出しておりますので顔を合わせる機会も多く皆仲良くやっております。

平成30年度の総会は昨年11月17日（土）にコンラッド大阪40階のレストラン「蔵」で行いました。今回は初めて外部から来賓として大槻勝紀学長をお招きしました。出席依頼の際、小さな支部でありますので来てくれるかなと危惧しておりましたが、寛容にも承諾していただきまして感謝しております。参加者は学長を入れて10名でした。まず学長より現在の大阪医大的学生教育、研究、経営、展望などについてお話ししていただきました。その後、西山先生の乾杯の挨拶の後、素晴らしい夜景をバックに美味しい鉄板焼きをいただきながら歓談となりました。世間話から始まりましたが、いつの間にか学生の頃の講義・テストの話や失敗談、クラブ活動などの話題で盛り上がり出席者それぞれ



上列 左から  
高瀬卓志（学37期）  
奥村隆司（学31期）  
山田 韶（学37期）  
木戸友幸（学26期）  
西山和夫（学25期）  
多根一之（学33期）  
下列 左から  
柳川伸子（学34期）  
大槻勝紀学長（学27期）  
賀来清高（学27期）  
中山富雄（学30期）

## 謹賀新年 2019

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。  
仁泉会会員様のご健勝とご多幸を祈念しております。

仁泉会役員一同



の学生時代にタイムスリップしました。あっという間に4時間半も過ぎ終演となりました。若い頃は母校愛だの伝統だの古臭くて？なんとなく抵抗感？がありましたがあれ、還暦を過ぎてからか（ちょっと遅いか）抵抗なく受け入れるようになってまいりました。

今回、大槻学長をお迎えして大阪医大の現状や展望を聞かせていただいたり学長の熱意に直接触れることができ、私だけでなく参加者一同に大阪医大の母校愛や発展を祈念する気持ちになりました。微力ですが、港区支部が大阪医大並びに仁泉会のお役に立てればと思います。

**伝統とは火を守ることであり灰を崇拜することではない（グスタフ・マーラー、作曲家、指揮者 1860~1911）**

## チーム医療のクレド

**生野区支部長  
村田高穂（学22期）**

平成最後の新年、明けましておめでとうございます。仁泉会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお祝い申し上げます。

私事で申しますと、昨年は同年代の友人知人が相次いで逝去し、本来ならば新年を祝う気持ちにはなりませんが、新しい年に世界の平和と皆様の幸せを願い挨拶させていただくことにしました。

平成の時代を振り返りますと、バブル経済が破綻し、ちょうど2000年ミレニアムの年に向けて、世纪末思想により、人々の気持ちを不安にさせるような犯罪集団の出没もありました。また、平成7年阪神大震災、平成23年東日本大震災をはじめ、全国各地で地震や台風・水害の多発により甚大な被害に苦しめられました。

しかし、そんな中で人間が苦難に屈することなく、力を合わせて明日へ向け復興する姿も目にできました。

この30年に経験し考えたことをもとに新しい年に向け、人々の愚かさを反省し、人々の強さを継承していきたいものだと思います。

私たちの病院、医療法人穗翔会村田病院は、今年で35年目を迎えます。理想の医療は未だ遠い気はいたしますが、私たちの「医療人としてのクレド」を目指してやってきました。

「クレド」は、「約束」や「誓い」を意味する言葉です。私たちスタッフが医療を実践する際に、患者さんや家族の間でかわす約束事と考えます。

「医療人としてのクレド」

1. Hospitality あなたの喜びが私の喜びです
2. Humanity あなたの人格を尊重した医療を行います
3. Honesty あなたに誠実な医療を提供します

私たちはこの平成の時代を、医療を通して様々なことを学びました。

人間同士の信頼（Trust）であり、互いが責任（Responsibility）を全うすること、互いに情報共有（Information sharing）し、互いに連携（Communication）をとること、そして互いをいたわり合うこと（Kindness）によって、チームができ上がることを知りました。「チーム医療」の誕生です。その結果、私たちの「チーム医療」のクレドが出来上がりました。（2018年10月）

「チーム医療のクレド」

1. スタッフが自己啓発に努め、チームとして質の高い医療を目指す
2. 多職種スタッフが連携し、安心で安全な医療環境を作る
3. スタッフと患者・家族が協力し医療目的を共有する

年号は平成から新しく変わっても、私たちの「チーム医療」は不滅であると信じています。



## 謹賀新年

### 阿倍野区支部長 福本敏子（学24期）

新年あけましておめでとうございます。仁泉会の先生方に於かれましては、悉く新年をお迎えのことと存じ上げます。昨年は学31期の長田啓嗣先生と大阪鉄道病院緩和ケア部長学44期の清水啓二先生に入会していただきました。長老の藤本正三先生もお元気に会合にご出席いただいております。今年も納涼会、総会の開催を予定しています。今後も支部会員、皆、心を一つに合わせ、病診連携、診診連携を推し進め、阿倍野区医師会長の岡成樹先生のサポートも含め、実り多い年となるよう頑張って参ります。今後はゴルフコンペなどの開催も予定していきたいと思います。各種行事を通じて年代を超えて同門としての絆を強めることができるように思います。

今年も仁泉会の皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

## 謹賀新年

### 住吉・住之江区支部長 瀬崎憲夫（学42期）

新年あけましておめでとうございます。

仁泉会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

前支部長 霜野良一先生が、仁泉会大阪府支部連合の会長にご就任されましたので、昨年10月の本会支部総会にて、その後任として支部長を拝命いたしました。前支部長 霜野先生は精力的にご活躍されておられましたので、大任ですが全力投球してまいりますのでご指導ご鞭撻

のほどよろしくお願ひいたします。

私は、平成5年に母校卒業後、大阪市立大学消化器内科に入局し救急病院で研修を受けました。平成8年には住之江区で消化器内科有床診療所を父の後に継いでおります。おかげさまで他に介護老人保健施設、特別養護老人ホームを運営することができ、順調に発展しております。施設患者の急変時には、住之江区・住吉区の先輩先生がたの病院で快く受け入れていただけており、また私の施設へは学生時代の野球部の後輩先生がたを中心にご助力いただいており日々心強く感じております。素晴らしい先輩・後輩に恵まれていることにあらためて感謝し、心より厚く御礼申し上げます。そして母校が大阪医科大学であることを誇りに思っております。

さて、私の大学時代は6年間の長い大学生活であったにもかかわらず「野球」の思い出しか残っていません。野球部においては、西医体でコールド負けした翌年に準優勝することができたあのときの光景と感動は今でも鮮明に蘇ってきます。殆ど毎日の厳しい野球の練習で培った努力や集中力そして絆が勝利に導いてくれたのだと思っています。学生野球を通して得たことは多く「無駄な努力はない！」という想いは、その後の私の医師としての社会生活に大きな軸となっています。現在も野球を続けており、法人チームや大阪府医師会チームに所属して試合に出場しています。一緒に野球をプレイしていただけるという先生がいらっしゃいましたらご一報ください。

医療福祉の業界に携わっていることからも、まだ通過点にしか過ぎないこれからの中高齢化の問題は、すでに非常事態の域を超えており、日々その国政の動向も気になるところではあります。後輩の野球部の戦績とクラブ活動時間の減少もそれ以上に気になるところです。私の法人にも学生が実習に来てくれるのですが、彼らの勉強に対する熱心且つ真面目な姿勢やクラ

ブ活動での様子をうかがっていると、勉強より野球の優先順位が高かった25年前の大学生活で私は本当に幸せだったと、つくづく感じております。

終始野球ネタになってしましましたが、末尾ながら新年を迎えて益々の大阪医科大学のご発展、そして仁泉会と会員の皆様のご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

支部長職を全力で頑張ります。

## 新年のご挨拶

### 高槻市支部長 保田 浩（学31期）

仁泉会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年の大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号、北海道地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

仁泉会高槻支部長を平成30年6月から仰せつかっております学部31期の保田 浩と申します。阪急上牧の駅前で小児科を開業しております。前支部長の櫻原茂之先生（学部22期）より引き継ぎ、身のしまる思いでおります。

さて、高槻におきましてはこのたびの大阪北部地震と台風21号の災害にみまわれました。地震はちょうど出勤前で強い東西の揺れでした。今回の地震は場所によって揺れの大きさが違いました。自宅は天神町で伊勢寺の道沿いに断層があるためか、かなり揺れは強く感じました。幸いなことに自宅から5キロ離れた上牧の診療所はほとんど物も落ちていませんでした。その後断水などもあり、同窓の呉の渡邊哲彦君から温かい支援を受け感謝しておりましたところ、西日本豪雨では呉が災害にありました。渡邊君は道路の寸断で診療所に閉じ込められ泊まり込みになりました。知り合いの診療所は床上

80センチまで浸かり、物資も届かず大変な思いをされていました。台風21号では、第二室戸台風を彷彿する（堺の実家に近所の方が避難してこられ停電でロウソクの火を囲んでいたのを覚えております）すごさで、紙くずのようにトタンやガレージの屋根などが飛び交っておりました。北摂の山の木々が至る所でなぎ倒されており、まるで竜巻がおこったようでした。高槻の町の屋根のブルーシートもこの災害でより多く見受けられるようになりました。屋根職人もいない状態で我が家はいつになるやらと案じております。あらためて今回のいろんな災害に被災された仁泉会会員の皆様にお見舞い申し上げます。

さて仁泉会高槻支部ですが、支部懇親会には母校の教授も含めて、もっとたくさんの方に参加していただき交流を深めてほしいと考えております。高槻市医師会では福利・厚生の理事を長年しており、医師会ランナーズクラブ、美術・写真クラブや母校バレーボール部OB会の活動にも力を入れています。交流する事の大切さや楽しみを感じております。同門の交流の場を増やし、たくさんの先生方に参加してもらえるよう頑張りたいと思っております。

最後に、今年も仁泉会の皆様にとってすばらしい年でありますように祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 仁泉会新年挨拶文 2019

**吹田市支部長  
丸川 治（学32期）**

平成31年の新春を迎えるに当たり、仁泉会会員の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年は地震や台風などの異常気象が相次ぎ、被災されました会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

仁泉会関連の昨年の話題は、卒業生の医師国家試験合格率の完全V字回復！に始まり、他（多？）私立医大の入試不正問題疑惑（母校は真っ白！判定を頂いたそうです）等など、正に慌ただしい一年であったと思います。

また医学全般に於きましては、iPS細胞が網膜、心筋、血小板、脳・脊髄神経細胞へいよいよ臨床応用の開始進行中、等など今後の医学進歩も着実に進んでいるようです。

そしてよいよ2019年平成最後の年の幕が開きました。皇位継承問題、大型連休の期待、消費税増率問題も気になるところ、医療情勢におきましても徐々に厳しく予測できない緊張を強いられる状況にあります。

この様に新年はなかなか明るい話題はなさそうですが、今年は何より、ラグビーワールドカップ、そしてTOKYOオリンピック・パラリンピック前年（おまけに2025大阪万博も開催決定！）と言う国際的イベントが次々と待ち構えております。これらスポーツなどの大規模イベントの役割はハード面充実などによる単なる経済効果だけでなく、国民全体に精神的にも勇気と活力を与えてくれます。その結果、身近な環境においても、心身ともに健康増進作用もあるようと思われます。この新しい年、日本・関西が一丸となり一つの目標に向かえば新しい力になるよう思えます。

仁泉会も大学や会員相互の連携をより強固な

ものにすべく、支部会の再編・新設、学生会員の募集などの新たな改革が急ピッチで進行していると聞き及んでおります。

本年が皆様にとりまして、また母校・仁泉会にとりまして益々良き年となります様に祈念いたしまして、御挨拶とさせて頂きます。

## 激変

**東大阪市支部長  
大西洋一郎（学25期）**

2年前同級の大森先生幹事で宝塚のホテルで51会が開かれ、折に水田先生と話す機会があった。これから須磨の家に行って雑草の手入れをする。と言って別れたが、これが暗示であった。普通にはそんなことをしたこともない。年が明けて妻であった現大淀医師会会长から三行半をつきつけられた。晴天の霹靂であったが承知した。しかし40年以上の結婚生活であったので、時間は少しかかると思っていた。調停の申し立てが家裁より來たので、その期日に家裁を行った。調停員の話を聞き、2回目の調停時に離婚に同意すると返事をした。条件なしで決着。相手側の弁護士費用を考慮した。弁護士に調停を頼む必要などなかった事である。1か月後の離婚であった。まあ、人が死ぬ時知らずうちに身の回りの整理をするといったことがあるようであるが、雑草の手入れをするといった、したこともないことをするということが、知らずのうちに離婚を意識していたのかも知れぬ。人生100年時代に入って、第1期の50年が終わり第2期目の50年が始まって18年目である。まず最初にしたことは、Wi-Fiを設置したこと。タブレットとスマホを買ったこと。アマゾンのPrime会員になったこと。引越荷物は価格.comを使って業者を選定した。途中台風で一部の屋根が飛び、隣人に迷惑をかけ、その処理に時間を費やせざるを得なかつたので、大阪府連の副

会長の職務をできず、連絡しなかつたことをお詫びいたします。我に七難八苦を与え給えと山中鹿之助は言ったのであるが。現在はスマホがあり、前にファミマがあり、食事処があり、アマゾンがある。都会に居ればぼちぼちいけるでしょう。

51会が賢島の宝生苑で10月14日に開かれ、レート4.6で近くでいいホテルでした。子日先生ありがとうございました。うまい酒でした。仁泉会の先生方には奥様の言うことはすべてもっとももっとも聞いていって欲しいと思います。

### 謹賀新年

追記 51の大森先生は兵庫県医師会、地区学校保健、仁泉会理事会で活躍されており、いつもお世話になっております。これからも宜しくお願いします。

## 平成31年新年のご挨拶

**堺市支部長  
村木宏要（学27期）**

仁泉会の皆様、新年あけましておめでとうございます。厳しい医療現場の中、新規在宅及び介護事業に多種施設が進出して主導権を握られています。息子夫婦へのバトンタッチも考えるべき年齢になっているのにバトンの渡し方に迷っています。昨年11月当堺支部の総会に大阪府連新会長 霜野良一先生に参加していただきました。皆様も一致団結して新会長を盛り上げましょう。

### 平成30年仁泉会堺支部総会報告

平成30年11月24日（土）堺市内「かき豊」中店にて、平成30年総会並びに懇親会を開催いたしました。昭和14年頃から続いていると聞く堺支部は現在、会員は44名と減少ぎみですが、まだ未入会の方も多数おられます。今回、

参加者は26名でした。

#### 【第一部】支部総会

##### 1. 物故者への黙祷

北野英一先生（高16期）

平成30年7月13日 逝去

松井晃平先生（高17期）

平成30年1月12日 逝去

##### 2. 会計報告、監査報告

##### 3. 審議事項

一昨年より数回の臨時役員会と総会を経て堺支部会員規約の改正を終了できました。13来年ぶりの規約改正のため様々な議論を行いました。これに、住所録を付けて印刷、来年早々に配布予定です。

#### 【第二部】講演

仁泉会大阪府連の活動の現況と今後

仁泉会大阪府連新会長 霜野良一先生（学28期）  
御祖父様が元々堺市医師会長で小中学校は堺市で過ごされたこと。S54年大阪医大卒業後解剖学教室、H1年第2内科入局し消化器内科研鑽後、H12年大阪市住吉区で内科開業。H30年5月大阪府連新会長就任。と自己紹介された。

現在、大阪府連は50支部あって、43支部で支部長がおられるが実際活動している支部はどれぐらいか？年1回の支部長会にどのくらい来ておられるか？問題の所です。とにかく、会員を増やす努力をしたい。最後に会長の一番の課題は会員相互の懇親と融和であると締められた。

#### 【第三部】懇親会

中田英二副会長の挨拶に続き、堺支部唯一の大阪高等医専卒業の小山一男先生（高17期）に乾杯発声をお願いしました。霜野府連会長にも輪に入っていただきました。先生の講義を受けられた本支部会員もおられ、合格点をくれなかつたと愚痴る場面もありました。引き続きいろいろな話が飛び交い話はつきませんでした。最後に、記念撮影を行なった後、武市直範副支部長（学30期）の締めの挨拶でお開きとなりました。

## 【本年度食事会】

1)春: 平成30年6月2日(土) 鉄板焼き・洋食・和食  
あべのハルカス ZK(ジーケー) 大阪マリオット都ホテル57階(最上階)  
2)秋: 平成30年10月28日(日) 日本料理  
一子相伝なかむら(ミシュランガイド★★★)  
京都市中京区富小路御池下る

## 出席者(敬称略)

小山一男(高17期) 定延和夫(学11期)  
後藤紀夫(学14期) 小林敬司(学16期)



3列目左より 太田俊輔(学44期) 近藤圭策(学45期) 德原孝哉(学48期) 足田米造(学37期)  
佐々木徳久(防衛医S63卒) 藤田素樹(学28期) 田村友彦(学36期) 吉良俊彦(学48期)  
2列目左より 斎藤振二(学21期) 北川友朗(学33期) 澤田出(学30期) 田村陽史(学34期)  
中田英二(学28期) 萬代正治(学41期) 武市直範(学30期) 神藤理(学48期)  
前列左より 宮前有子(昭和大学医S51年卒) 小林敬司(学16期) 後藤紀夫(学14期) 村木宏要(学27期)  
霜野良一(学28期) 定延和夫(学11期) 塚田裕久(学17期)  
(小山一男(高17期) 吉岡卓治(学30期) 中野慎一(学37期) は写真撮影前に帰宅されました)

塚田裕久(学17期) 斎藤振二(学21期)  
宮前有子(昭和大学医S51年卒)  
村木宏要(学27期) 中田英二(学28期)  
藤田素樹(学28期) 澤田出(学30期)  
武市直範(学30期) 吉岡卓治(学30期)  
北川友朗(学33期) 田村陽史(学34期)  
田村友彦(学36期) 中野慎一(学37期)  
足田米造(学37期) 佐々木徳久(防衛医S63卒)  
萬代正治(学41期) 太田俊輔(学44期)  
近藤圭策(学45期) 德原孝哉(学48期)  
吉良俊彦(学48期) 神藤理(学48期)

## 献血してきました

貝塚市支部長  
川崎康寛(学35期)

明けましておめでとうございます。昨年は大阪北部地震や台風21号の強風高潮など仁泉会会員の方でも大なり小なり被災された方は多いのではないでしょうか。私もご多分に漏れず、診療所の方は停電を免れたものの、自宅の方は2日間停電して夜は真っ暗、冷蔵庫の保冷剤の世話を駆けずり回りました。尤も私より自宅を守る妻の方が大変でしたが。地震や水害の被害のニュースを見ても今までどこか他人事であった自分を反省しています。反省と言えばもう一つ。昨年の年頭のご挨拶で仁泉会泉州ブロックの会へご参加をお願いしたのに、自分自身が急用で参加できなかったことです。お詫び致します。

さて、そういう自然災害により献血バスが出られないなどで血液の需給状況が逼迫しているということを知り、1年ぶりに献血してきました。少しづつ需給状況は改善しているようですが、まだまだ厳しいようです。私は多分大学1年の時から献血をしているはずで、かれこれ40年になります。学生当時の1回採血量は200mlのみで、その後400ml献血が始まりました。献血カードには78回という記録がありますが、400ml献血が始まつた頃には400ml献血をすると2回献血をしたというカウントをしており、このため本当は何回献血したかはわからなくなってしまっています。この献血カードも当初は赤い二つ折りの献血手帳で、献血するたびにハンコが押されて、10回献血すると更新されるシステムでした。研修医時代には献血バスでの予診医もしましたが、その頃に比べて問診項目も細分化かつ詳細になっています。しっかりと予習しないと検診できそうにありません。血圧は聴診器でコロトコフ音を聞くなんて

時代遅れ、デジタルの血圧計が勝手に測ってくれます。「血液の濃さ」はあの青い硫酸銅水溶液に1滴の血液を滴下して浮くのか沈むのかで見ていた比重という項目は平成23年からなくなり、すべて血色素量(ヘモグロビン濃度)が基準となっています。つまり「比重が足りなくて、献血でけへん。」ということはもうないのです。将来、人工血液が開発されるのか、あるいはiPS細胞から自分の赤血球を大量に作って輸血するようになるのか、それまでは昔ながらの献血-輸血が続くでしょう。そういう時代になるまで医師としての仕事をしているのでしょうか。そんなことを考えているうちに400mlの採血は終わりました。あと10年余りは献血可能年齢ですので、健康に過ごして献血も続けられればと思います。

## 新年のご挨拶

和歌山県支部長  
田伏俊作(学20期)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成29年11月の支部総会で、古田浩太郎先生(学14期)の支部長後任を託されました。副支部長に湯川裕史(学29期)、庶務・村上浩一(学32期)、会計・塩崎憲(学42期)、監査・向井龍一郎(学27期)、地区幹事和歌山海南・藤田定則(学38期)、紀北・湯川副支部長、有田・橋本忠明(学25期)、中紀・紀南・丸山晋右(学41期)、日赤担当・吉田隆昭(学36期)、和医大関連勤務・木下博之(学41期)(敬称略)で運営してまいります。尚、古田前支部長には10数年の長きにわたり本当にご苦労様でした。

又、和歌山県支部が始まって以来ほとんど毎年高槻よりご出席いただき、一昨年これまで最後だと言っておられた中田勝次名誉教授(高17期)には昨秋もご出席いただき本当にうれしく有難く、心よりお礼を申し上げたいと思います。

大学も法人合併して大阪医科大学となつたのを機に、今年は大阪薬科大学の和歌山県支部の役員との初めての顔合わせなども考えてみたいと思っています。

老いも若きも60名余りの和歌山県支部会員の親睦をさらに図つていけるように微力ながら頑張っていく所存です。よろしくお願ひいたします。

## 謹賀新年 兵庫県支部連合会の現状

### 兵庫県支部連合会会長 飯塚信行（学24期）

明けましておめでとうございます。

私、平成30年7月より兵庫県支部連合会会長を務めさせていただいてます、神戸支部の飯塚信行と申します。今後ともよろしくお願ひ致します。

さて支部連合会ですが、以前は各支部持ち回りで総会が開かれていました。しかしこ数年開かれていません。また神戸支部では平成27年まで支部連合会の会費を徴収していましたが、これもなくなりました。その為神戸支部の総会の前に、支部長会を開いていましたが、ここ数年参加される先生が減少してまいりました。つまり現在、休眠状態であります。

今回、平成30年4月に神戸支部の増井裕嗣会長が各支部長にアンケートを実施しましたので、その結果をご報告いたします。

(尼崎・伊丹支部) 大森英夫会長

8月に年1回支部総会と懇親会を開催している。参加者は20名前後。勤務医の把握ができていない。

(宝塚支部) 辰井光会長

卒後、他大学もしくは一般市中病院で研修される医師が増えて十分把握できていないが、この度宝塚支部の名簿を作成しました(29名)。こ

のうち毎年総会に参加されるのは10名前後で減少傾向です。

(川西支部) 土肥恒夫会長

A会員9名の小さいが、まとまりのある支部です。

(東播支部) 松本和基会長

年1回支部総会を開いているが、参加者が少ない、勤務医の扱い上げが異動もあって難しい。

(姫路支部) 岡村信介会長

年1回総会と学術集会を行っていますが、15年前は加古川地区が入っており、20名以上の参加でした。今は10名前後しか集まりません。日医生涯教育の単位申請ができるくらい集まればいいのですが。神戸に集まることができませんか?

(但馬支部) 舟木千明会長

大阪府より広い但馬地区に仁泉会の現役医師は4名と思われます。4人が4市町に1名ずつなので、実質休会中です。最後の支部会は平成18年でした。

(西宮支部)

返信なし

なお神戸支部は1月の新年会、7月の総会、学術講演会があり、30~40名の参加です。そして年1回のゴルフコンペです。

以上が現状ですので、今後については思案中です。

## 新年のご挨拶

### 宝塚市支部長 辰井光（学32期）

新年明けましておめでとうございます。

今年はいよいよ30年続いた平成という元号は終わりとなり、名実ともに新たな時代の幕開けとなります。期待に胸を膨らませて、と言いたいところではありますが今年は10月に消費税増税が予定されており、本当に世の中良くなっていくのか?と不安の募る今日この頃で

す。また高齢化が色々取り沙汰されておりますが、周知の通り我が日本は平成7年に高齢社会、平成19年には既に超高齢社会になっています。

医療の世界ではどの領域でも診断・治療ともにどんどん進歩しています。私が関わる骨粗鬆症診療に関しても同様で、私が平成の初め頃に大学で骨粗鬆症の診療に携わった頃は、最新鋭の全身を測定できる骨塩定量装置(DEXA)が導入されても、まだ薬剤が少なく効果も不充分でせっかく精度の優れた機器で測定してもなかなか骨量が増えないばかりか患者のモチベーションも維持できないというつらい暗黒の?時代がありました。

約30年を経た現在ではビスフォスフォネート製剤は言うに及ばず、PTH製剤や抗RANKL抗体製剤と呼ばれる新しい薬剤も次々に登場し、治療の選択肢も増えてまさに隔世の感があります。実際、適切な治療を施せば高齢者でも骨量を増やすことが容易にできるようになりました。さらには骨量もさることながら骨質を改善させるのに主眼を置かれるようになりました。地域により温度差はありますが、骨粗鬆症診療における病診連携やリエゾンサービスといって医師以外の医療従事者も積極的に骨粗鬆症に関われるという環境作りが進んでいます。

ただ、地域に根ざした臨床の現場では先に述べた超高齢社会のあおりで認知と隣り合わせの高齢者を相手にしているわけで、いくら優れた内服薬でも飲まなければ、注射薬の場合は来院しなければ治療効果は期待できないわけです(これは他の生活習慣病全般に当てはまることが多いと思います)。

こういうジレンマと日々向き合い、自問自答しながら診療を続けている今日この頃です。

近年、仁泉会の結束や連携が希薄になっているという寂しい話も耳にしますが、宝塚市では会員数は多くなくとも仁泉会員が仲良く協力連携して日々医療に取り組んでいるという自負が

あります。これからも大阪医大の(大学、医局、部活動)での縦の人脈を生かすとともに地域での横の連携も深めて微力でも仁泉会の維持発展の一助を担えればと思っています。

## 新春のご挨拶

### 岡山県支部長 小出尚志（学28期）

平成三十一年、新年あけましておめでとうございます。

はじめに、昨年7月の西日本豪雨災害に際して、発災直後からDMAT、JMAT、DHEAT...など、県外各地からの災害支援チームやボランティアの皆さんへの支援を頂きましたことにあらためて御礼を申し上げます。

あちこちで観測史上最大雨量が観測されて百年に一度という異常事態でしたが、岡山県でも10河川18か所の決壊で死者61人という甚大災害となりました。私の住む倉敷市では、市街地から北へ10km程に在る真備地区は町全体が水没し、私の病院の職員も15名が被災、うち5人は家が水没、2名は水没した家の屋根から自衛隊のヘリで救助され、今なお仮設住宅の生活を余儀なくされています。

発災から2週間後、私も2名の看護師とともに医療ボランティアとして被災地に赴きました。その際、偶然にも隣のテントには大阪JMAT隊、しかも大阪医大チームでした。感謝を胸に一世代も離れた後輩たちとエールを交換しました。皆さん、本当にありがとうございました。

さて、平成の元号で迎える新年は今年が最後です。今年、4月30日に今上天皇が退位され、翌5月1日に新天皇が即位されて新元号に変わることになります。昨年は明治150年の節目の年で、今年が平成元号の最後の年...元号は人為的な時代の区切りにすぎないのでしょうが、

なぜか、節目の年というだけで、感慨深く感じてしまします。

昭和は、戦争と敗戦、そこからの復興と目覚ましい経済発展で「激動の時代」と言われ、平成という時代は、バブル崩壊後の低成長やリーマンショックによる国際金融危機、東日本大震災などに象徴されるごとく、「停滞の時代」あるいは「失われた20年」とネガティブな言葉で形容されてきました。人口減少などの大きな平成の課題は引き継がれていますが、新しい元号の時代には、東京オリンピック、大阪万国博覧会と昭和の勢いを再現するようなイベントが待っています。新たなポジティブの時代の幕開けを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

### 島根県支部長 中島 徹（学25期）

本年は、昭和と云う世代に生を受けた我々も、昭和、平成、○○と三つの世代を過ごすことになり、その移行時に10日にわたる長い休暇を経験するわけだが、我々医療者が対処すべき「疾病」に休暇のあるはずもなく、医療に携わる我々にとって如何に過ごすか一寸とまどいもあるが、願いも込めておめでとうございます。めでたいことといえば先の京大の本庶祐特別教授のノーベル医学生理学賞受賞である。6年前にips細胞で同賞を受賞された山中教授によると、この受賞は京大の本庶祐教授の、これからのがん治療を革命的に変化させる『免疫的治療薬』（オプジーボ）という新薬創薬のきっかけとなつた、『PD-1』の発見から生み出された多くのがん患者の救命につながる一連の過程』に与えられたもので、6年前にips細胞で山中教授が受けた時と意味も重さも違う、と自らが述べられたとの事だが、これに負けるなどばかり全国各地

で様々な取組がなされているだろうが、「広報しまだい」の記事によれば、当地島根県においても、学内に様々なバイオベンチャー企業が設立されているが、特に浦野健教授の病態生化学教室においては抗体作製技術を実用化して臨床に役立つ免疫薬を造る「マブプロテイン」なる会社が設立され商品化できる抗体薬の作製をめざしている。文科省の予算措置をうけて、5年生存率の最も悪い肺がん撲滅プロジェクトセンターを造り、新たな抗体医薬品、免疫療法を開発し、現在は（炎症性サイトカイン）において6種類の抗体作製に成功、2・3年後には商品化され黒字を生むとのことである。誠にめでたいことである。さて所でご存じない人もあるでしょうが、この島根大学医学部（島根医科大学）の生化学教室は、私が入学して生化学の授業を受けた上田教室の講師の下山誠先生が教授として赴任開設された流れにあり、田中握教授を経て、下山先生と共に赴任して基盤を造られた谷河精規教授の後を受けて業績を上げられていることを知り、学生時代には授業中眠つてばかりいた不肖の弟子であるが、結婚式にも出て頂いたものとしては自分の卒業した大阪医大の遺伝子がノーベル賞のどこかにリンクすればとひそかに思っています。なお、下山先生は平成12年4月1日から平成15年9月30日まで島根医科大学最後の学長として島根大学との統合を成し遂げられました。谷河精規先生は島根リハビリテーション学院長として出雲に在住です。出雲は決して神代にだけ栄えた所ではありません。これから可能性のある地域です。出雲に来て暮らしてみませんか？



## ご挨拶

### 香川県支部長 石田達也（学28期）

明けましておめでとうございます。

昨年9月22日、耳鼻咽喉科萩森伸一専門教授（学38期）からお誘いをいただき、大阪医大香川県人会に初めて参加させていただきました。場所は、摂津富田駅から徒歩10分の料亭「きんなべ」。参加者は23名。島田真久元学長（学14期）を始めとして、阿部宗昭名誉教授（学15期）といった大先輩もおられ大変恐縮しましたが、精神科米田博教授（学28期、同級生）の姿もあり、すぐに和やかな気持ちとなりました。

私の役目は、「香川県に戻られる機会があれば仁泉会県支部があるので大いに活用していただきたい。」と伝えることにあるのですが、なんとその場に、香川県で臨床研修をされていたはずの兼竹博文先生（学65期）がおられるではありませんか。伺いますと「やはり母校の耳鼻咽喉科の方が自分には向いていると分かった。」とのことで、研修を終えた段階で高槻に帰り入局したこと。香川県支部にとりましては少し残念なことではありますが、彼の気持ちを尊重し将来にエールを送りたいと思います。（ということで、香川県支部会員は総勢41名になりました。）

香川県人会では、現況を語るとともに、香川県がルーツたる所以を順に披露しあうことになります。皆さん、日頃の活躍ぶりは言うまでもなく、やはり地元香川の話題になるととたんに声のトーンがあがり饒舌になります。出身高校の名前が出ると育った地域が浮かび上がり、どの方も絶妙なトークで自分史を語られるため、ここが高槻とは思えない雰囲気となり、笑いは最高潮に。ただ、香川県に残してきた家屋などは、遠方にあるが故に時間を費やして帰郷し手入れするの

も一苦労、さりとて処分してしまうには思い出も絶ちがたいとのこと。この先どのようにしたものか答えの出ない悩みを抱えておられるようでした。卒後、香川での勤務を選んだ者にとりましては、当初、他大学に入局するなど職場を開拓し、新たな人脈を作ったりとそれなりの苦労もあり、母校に残った会員を羨ましく思うこともありますと、努力だけで乗り切れるような問題でもありませんので、ただただお話を聞いて頷くしかありませんでした。

母校県人会の皆様との熱い交流を通して、香川県の良さを再確認することができました。香川県支部も県人会に負けないようにハッスルしていきたいと考えております。新たな年のスタート。元号もかわります。皆さん、また元気を出して頑張っていきましょう。

## 謹賀新年

### 愛媛県支部長 井関亮甫（学23期）

仁泉会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。

平成三十年十月二十七日（土）18時30分より愛媛県仁泉会総会を開催致しました。今年度は私の同期の前教授近藤敬一郎先生【第二十三期】をお招きし約二十分钟間、大阪医科大学の近況、大阪薬科大学との合併における種々の情報等をお話していただきました。その後、懇親会に移り、今回は会員の皆様の希望により料亭「いづみ」にて、ふぐ料理のフルコースを堪能しました。話題はいつもの如く学生時代の品行不良の「悪」の話ばかりで人の記憶は“おもしろ・おかしく・楽しかったこと”ばかりが酔っ払うと浮かんでくるようです。

出席は計九名で、来年は各自親しい会員に声をかけ、より多くの出席者を募ろうということ

になり、おひらきとなりました。出席者は次の方々です。(写真参照、敬称略)

【第十五期】横山 阪

【第十八期】長井新一郎、西上英昭

【第二十三期】近藤敬一郎、井関亮甫

【第二十八期】佐藤晴瑞

【第三十一期】本田光俊

【第四十四期】細田欣也、佐々木淳子



## 新年のご挨拶

### 高知県支部長

#### 濱脇弘暉（学11期）

仁泉会の皆様方、明けましておめでとうございます。高知県支部長の学11期・濱脇でございます。

私事で恐縮ですが、2019年3月23日で満82歳、全都道府県・地区の仁泉会支部長としては最高齢だと思います。

前支部長の学3期・今橋経任先生が高知県産婦人科医会会长を退任された2003年度から高知県産婦人科医会会长と仁泉会高知県支部長を仰せつかったと記憶しています。

両方の会の長15年超は長過ぎと自覚しております、過去から毎年、高知県支部総会で支部長の交代をお願いして参りましたが、「死ぬまでやれ！」との会員の総意？で今日に至っております。幸い高知県産婦人科医会会长は優秀な後

継者が決まり2019年の5月総会で私の退任は決まっていますが、仁泉会支部長は「呆ける」か「死ぬ」まで許して頂けないようでござります。

さて、大阪医科大学と高知県は特別な関係にあります。

大槻学長が大阪医科大学学報101号04頁に書かれていますが、「高知県地域医療支援寄付講座もしくはプロジェクト」の協定を2015年1月に結び、2018年3月23日に2020年3月末までの3期目の協定が決まり、現在も高知県の僻地医療機関の「嶺北中央病院」と「くぼかわ病院」に内科医2名を派遣して頂いております。

高知県にとって不可欠のプロジェクトであり、県内医師への総合診療専門医の養成や大阪医科大学の各種系統の学生にとっても多職種連携を学ぶ場として有益な効果が根付き始め、2015年5月と2018年10月には大阪医科大学・高知県地域医療支援プロジェクト協議会も開催されました(残念ながら私は勤務先の留守番医が見つからず欠席)。

大阪医科大学のみで学生として産婦人科医としても学び、他の大学卒業生に引け目を感じることなく生きて来られた私にとって限りない誇りですし、感謝に堪えません。

尾崎正直高知県知事も「県中央部に医療資源が集中する中、特に総合診療専門医が地域にいる心強さは非常に大きい」と云われており、本プロジェクトの継続と発展を心から祈念して新年の挨拶とさせて頂きます。



## 卒後50周年

### 第18期評議員 武井公雄（学18期）

新年明けましておめでとうございます。

平成最後の新年になりそうですが昭和生まれの我々は平成に続き次の年号も一同無事に迎えることができそうです。

この度卒後50周年を迎えることができましたのも大阪医科大学、そしてご指導いただいた各教授の先生方をはじめ諸先輩の皆様のおかげと感謝いたしております。卒後50年というと感慨深いものがありますが昭和40年代の青春時代が一番心に残っています。その時代は今のような医学部志向がそれほど強くなく、高校卒業時約200名中医歯薬に進学したものは4~5名だったと思います。

学部入学時、同級生の中には歯学部、薬学部を卒業したものや他の職業から入学したものまで様々で私から見るとみんな大人に見えたものです。

当時名物教授もたくさんおられ難解な講義で試験の際、友人から教えてもらったり過去問を調べ一協力、一夜漬けでなんとかのりきりといった状況で無事に進学。

卒業当時青医連運動が活発で各地で学園紛争が頻発、本学もご多分にもれず大学封鎖、国試ボイコット問題もおこり、夜遅くまでクラスで討議を重ねたものです。

無事卒業、国試も終わり現在各領域で活躍しておられることを伝え聞き当時の顔が思い浮かび懐かしく思い出します。

クラスメートも75歳を超え、会うと孫の話から始まり病気の話又いつまで仕事をしようかといった話になります。

今や時代は大きく変わり医学の進歩には眼を見張るものがあります。我々の世代はアナログの世界でインターネット等なかなかじめませ

ん。携帯電話ですら時間がかかり孫に教えてもらうような有様です。

日頃の診療では最近医療だけではなく介護等多職種との連携が求められ特に認知症に対するかかりつけ医としての役割も重要視されるようになっていますが時に同世代の患者さんもあり考えさせられます。

私も今年から運転免許更新に認知機能検査が必須となり久しぶりのテストに少し緊張というか複雑な思いでいます。

今年、年号も変わることもあり気分一新何とか頑張ろうと思っているこの頃です。

末筆になりますが大阪医科大学のますますのご発展そして皆様方にとって良い年でありますことを祈念いたします。



# 受賞報告

## 斎藤眞賞学術賞

文責／池田直廉(大阪医科大学脳神経外科学教室、学49期)

この度、本学脳神経外科学教室黒岩敏彦教授(学28期)が斎藤眞賞学術賞を受賞され、第77回日本脳神経外科学会学術総会(平成30年10月11日於；仙台市)において表彰されましたので、(写真1)ここに仁泉会の先生方にご報告申し上げます。

斎藤眞賞は1948年に日本脳神経外科学会の前身である日本脳・神経外科研究会を発足された斎藤眞博士の脳神経外科発展に捧げた情熱を後世の脳神経外科医に伝承していく目的として、日本脳神経外科学会が平成18年に発足した賞であります。特にその中でも学術賞は「日本の脳神経外科医療の学術的発展向上に顕著な功績があり、今後の展望にも大いなる期待がかけられる者に与える賞」とされています。

黒岩敏彦教授は脳腫瘍に対する集学的治療をライフワークにされており、当教室では先生のご指導のもと、特に悪性脳腫瘍に対する光線力学的診断および治療、ホウ素中性子補足療法(boron neutron capture therapy; BNCT)に関する研究を継続的に行って参りました。これまでに本領域で世界をリードする数々の先進的な研究成果が多数論文化されましたし、本学附属病院病院長時代にはBNCT医療の拠点となる関西BNCT共同医療センター(平成30年6月本学敷地内に開設)の開設にご尽力されました。また、これまでに多数の脳神経外科関連学会学術総会会長も務められ、これらの功績を認められ本賞受賞に至られたと思います。黒岩教授がこのような栄誉ある賞を受賞されたことを脳神経外科教室員、同門一同としても大変光榮に思っております。これを機に、教室員一同引き続き研究に邁進する思いを新たにしているところでございます。本学のさらなる発展に寄与するべく尽力する所存でございますので、仁泉会員先生方の当教室への変わらぬご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

## 大阪府医師会医学教育功労者表彰

文責／池田直廉(大阪医科大学脳神経外科学教室、学49期)

この度、本学脳神経外科学教室黒岩敏彦教授(学28期)が大阪府医師会医学教育功労者として表彰され、去る11月3日に大阪府医師会にて表彰式が執り行われ、茂松茂人大阪府医師会長より表彰状が授与されましたので(写真2)ご報告申し上げます。

医学教育功労者は長年にわたる医学教育への多大な功労に対して表彰されます。これまで黒岩教授は日本脳神経外科学会では卒前卒後教育検討委員会委員長、全国医学部長病院長会議では医学教育委員として医師養成グランドデザイン検証ワーキンググループの座長を歴任されました。

教授ご就任以来現在に至るまで、医学教育においては新研修医制度の発足や専門医制度の再考など様々な転換点があり、それに伴う卒前卒後教育のあり方について議論および変遷がありました。その中でも時代に即したより良い卒前卒後教育のあり方を模索され改革に尽力されました。さらに、日本脳神経外科救急学会や日本脳神経外科光線力学学会の理事長を務められ、日本脳腫瘍の外科学会、日本脳腫瘍病理学会、日本脳神経CI学会、日本意識障害学会、日本分子脳神経外科学会など多くの日本脳神経外科関連学会の要職を務められるとともに、会長として学術総会を開催され、脳神経外科の様々な分野での後進の育成に邁進されてきました。これらの功績をたたえられ今回の表彰を受けられたと思います。このような報告をできることを脳神経外科学教室員一同、大変光榮に存じます。今後とも変わらず当教室に対する仁泉会員先生方のご指導ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。



写真1



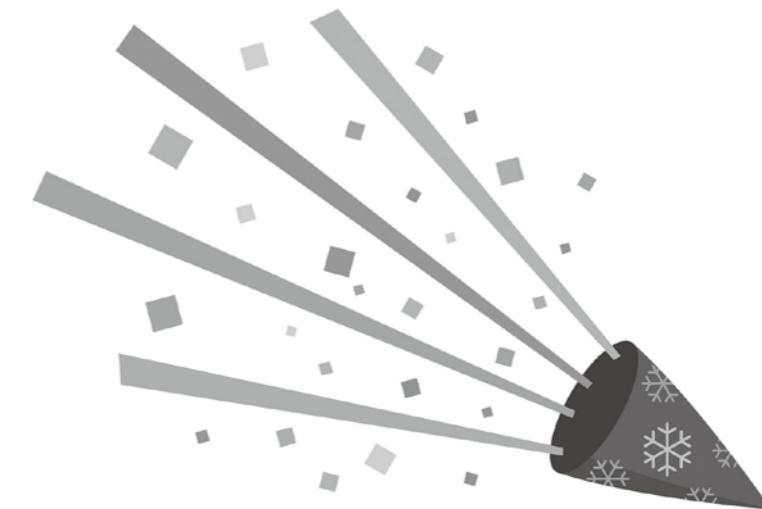
写真2

# 受章報告

平成30年秋の叙勲におきまして下記の先生の受章が判明いたしました。  
母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

## 瑞宝双光章 保健衛生功労 藤岡正信先生(学23期)

各地で喜びの受章・受賞等あれば、事務局宛に新聞掲載記事などをお送りください。  
また、お祝いの言葉、喜びの声も是非お寄せください。本誌にて広く紹介させていただきます。



## New Year Special Interview

# 本格始動した新専門医制度について考える

### 医療プロフェッショナル支援室室長 星賀正明先生(学34期) インタビュー



#### 新専門医制度の、今

新専門医制度は2018年の4月から正式にスタートしました。そして2018年11月22日、2019年度の募集が始まったのですが、かなりバタバタしていて、募集開始の3日前に通達があったほどです。というのも、2018年度が始まるときに都市部の希望者が殺到するのを防ぐためにシーリング、つまり人数制限がされました。ひとつは地域。東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、この5都府県にシーリングをかけました。もうひとつは領域です。外科、産婦人科、病理、臨床検査、総合診療以外の領域にシーリングをかけました。

では、もしシーリングを上回った場合どうやって調整するのか、という決まり事が作られていなかったんです。そしていざ蓋を開けてみると、4つか5つくらいのところでシーリングを超えてしまっていたのです。それが判明したのが2018年の9月末。これが非常に問題になりました、各地域の首長をはじめとして改善を求める声が多数上がりました。結局2019年度の募集直前まで調整がかかり、開始の通達が遅れてしまったというわけです。

#### 浮かび上がる問題点

私は大きな問題点が3つあると思っています。

まず1つ目は、これは制度が始まるとから言われていたことですが、一次募集の段階で応募者は全国で3000くらいあるプログラムの中からただひとつしか選べないということです。もし外れたとしたら二次募集がかかるまで待たないといけない。しかも、応募する2年目研修医は全国すべてのプログラムを閲覧することができるのですが、私た

ち指導医は自分の専攻領域以外の状況については閲覧ができません。私は内科のプログラム委員ですが、例えば外科の進捗状況は全くわかりません。おそらく機構や学会側は「例えば内科志望者は内科の中で動くだろう」と予想していると思います。でも実際は、領域を変えることも多いのではないかでしょうか。そういった場合に、私たちは他領域の状況が見えないので、適切なアドバイスをすることができない。そこは歯がゆいところです。

2つ目はシーリングの数が過去5年間の志望者の平均値によって決められるということ。となると、応募が少なかったプログラムは平均値がどんどん下がっていくわけです。希望者が減った分、枠が減るという悪循環を生むことになるのが懸念されます。

3つ目、これが最大の欠点だと思います。女性医師の妊娠や出産、男女に関わらず育児や介護などのライフイベントに対しての配慮が十分ではないことです。従来のカリキュラム制の場合は、一旦中断しても決められた症例数をこなせばよかったです。ですが、プログラム制の場合はそれができない。一応、そういうライフイベントがあった場合は半年くらい融通しなさいとか、近々にそういう予定がある人はカリキュラム制が選択できるようにしない、とは書いてあるのですが、実際どうやればいいのかというと、あまり良い知恵がないのが現状です。

#### 新専門医制度のメリットとは

この制度は元々、国民のためという名目でスタートしました。これまで各学会が独自で運用する「認定プログラム」を修了すれば専門医資格を取得できていましたが、各領域間でのバラツキがあり、その質を担保するための施策として新専門医制度が導入されました。その結果、どのプログラムにどのくらいの人が応募しているのか、どうやって運用されているのかということが鮮明に見えるようになってきました。また、制度を運用するために病院側の整備が進むこともメリットでしょう。

実際、大阪医大の例を挙げます。機構の規定として「複数の基本領域専門研修プログラムを擁している基幹施設においては、当該施設長、施設内の各研修プログラム統括責任者および連携施設担当者からなる専門研修プログラム連絡協議会を設置する」というのがあります。大阪医大は19領域全ての基幹施設なので、この連絡協議会の開催が義務付けられています。

先日、11月に年に一度開催される病院長会議のときに並行して開催することができました。協議会において顔が見える形で、病院長や各担当者と新専門医制度について情報を共有できたのはとても良かったと思います。

#### 新専門医制度のこれから

新制度は始まったところですので、改善すべき点は多くあります。実際8000人以上がすでに研修を開始しているわけですから、頑張っている専攻医をがっかりさせるようなことはあってはならないと思っています。

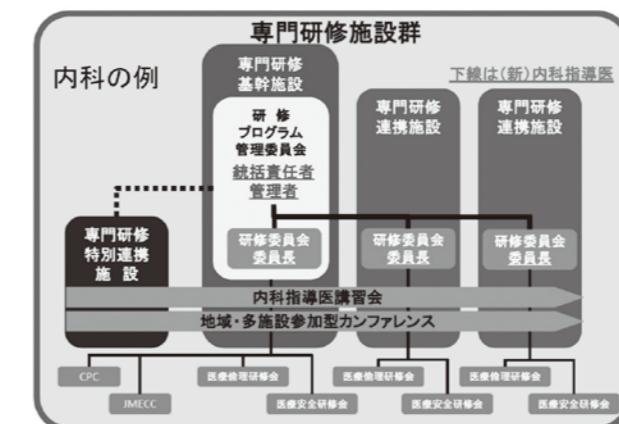
医療プロフェッショナル支援室として、最新かつ確実な情報を素早く発信し、いつでも相談に乗ることができるよう、また当院の発展に寄与できるように、頑張りたいと思っています。

仁泉会の先生方には、何か情報があればお寄せいただきたいですし、また問題点が見つかればお声を挙げていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いします。



医療プロフェッショナル支援室 ホームページ  
[http://hospital.osaka-med.ac.jp/career\\_support/program.html](http://hospital.osaka-med.ac.jp/career_support/program.html)

#### 新専門医制度で変わること



1. 新規取得をめざすプログラム参加者を、「専攻医」と呼ぶ。
2. プログラムごとに、「研修プログラム管理委員会」が設置される。
3. 複数の基本領域専門研修プログラムの基幹施設は、病院長・各領域統括責任者・連携施設担当者からなる「専門研修プログラム連絡協議会」を設置し、毎年協議を行う。

# 学会報告



## 第6回 JSURT 研究会開催のご報告

文責／東治人（泌尿器科・学37期）  
鳴海善文（放射線科・学30期）

平成30年9月28、29の両日、京都ウェスティンホテルにて第6回JSURT研究会が開催されました。会場には平日にもかかわらず、約150名の参加者が集まり、熱気ある討論が繰り広げられました。

最大の盛り上がりを見せたのは、2日目の膀胱がんの新しいMRIによるT-staging system(VI-RADS)で、膀胱全摘の指標について、泌



尿器科、放射線科、病理診断科からそれぞれの知見がシンポジストから提示され、病理診断科からは、さらに新しい、staging systemが、当日本邦で初めて示され、それぞれの立場から熱い討論がありました。

また、ランチョンセミナーの講師として、オランダからJelle.Barentsz教授に来日して頂き、PI-RADS（前立腺癌の良悪性のスコアリングシステム）の問題点と将来展望が提示され、多くの聴衆を惹きつけました。

以上、簡単ですが、今回の研究会の報告させていただきます。

仁泉会のご協賛、ありがとうございました。



## 2019年広島県支部総会

日時：2019年6月 土曜日 午後6時  
場所：ANAクラウンプラザホテル広島  
高瀬 泉先生にご講演いただきます。  
懇親会では大阪薬科大学同窓会との交流懇親会も予定しています。

# 事業報告

## 山口県懇親会

文責／小野誠治（学28期）

平成30年10月17日に新山口駅前の山口グランドホテルにおいて、山口県の仁泉会会員との懇親会を開催しました。渡辺恵幸先生（学20期）、田村健司先生（学42期）高瀬 泉先生（学47期）の3名に御出席をいただきました。

冒頭、河野理事長の挨拶にて、支部の活性化をはかるため懇親会を開催していること、山口県では前支部長の山口春雷先生（学10期）のご逝去の折、支部会計の残金をお預かりしていることをお話しになり、続いて安藤副理事長より母校、仁泉会の現状、これまでの懇親会について説明されました。また、山口支部の再開を依頼しました。

懇親会の中では、山口県の医療の現状やそれぞれの先生の近況のご報告などがあり、思い出話にも花が咲きました。以前は、仁泉会山口県支部は活発に活動をされていましたが、会員数が減少し支部会活動が困難となり、中断していま

す。因みに現会員は開業8名、勤務8名の16名です。また、他の地方支部も同じと思いますが、近年、母校の入学者はほとんど近畿圏で、山口県から母校に入学する学生が少なくなり、同窓の後輩がなかなか増えていることなどから、単独での支部活動の再開はなかなか難しい状況です。今後は私が支部長をつとめている広島県支部の総会などをご案内させていただきながら、大阪薬科大学同窓会との連携も含めて山口県の同窓会活動の活性化の手助けになればと考えております。

次回の広島県支部総会には、山口大学法医学教室の高瀬 泉先生（学47期）に講演をお願いしました。山口県の先生方には、今後広島県支部総会に是非ご出席をお願いいたします。

最後になりましたが、ご多忙の中、ご参加頂きました先生方に御礼申し上げご報告をさせて頂きます。



# 支部だより●●●

## 平成29年度仁泉会愛知県支部総会

文責／山本明和（学21期）

恒例の愛知県支部総会が3月25日にキャッスルプラザで開催された。支部会員12名の出席があり、来賓として仁泉会本部より副理事長の安藤嗣彦先生（学20期）を迎え、また講演の講師として大阪医大内科学Ⅳ 横野茂樹専門教授（学32期）をお招きした。

まず支部長の石垣宏先生（学16期）より挨拶があり、物故者として近藤金司先生（学6期）、鳥居萬年先生（学6期）の御冥福を祈り、黙祷をささげた。

次いで議事に入り庶務、会計、会計監査報告が行われ、参加会員の承認をいただいた。引き続き役員改選が行われ支部長に山本明和（学21期）、副支部長に柴田真一先生（学30期）と江口秀史先生（学30期）、庶務に前田敏子先生（学24期）、会計監査に加藤鈴幸先生（学14期）、神谷鉄彦先生（学14期）、参与に金森清信先生（学4期）、加藤鈴幸先生、神谷鉄彦先生を選出し、仁泉会理事に神谷鉄彦先生、仁泉会地区評議員に石垣宏先生が承認された。

議事終了後に仁泉会本部副理事長安藤嗣彦先



前列左から 山本明和 石垣宏 神谷鉄彦 安藤嗣彦 横野茂樹 山元貞彦 加藤鈴幸 葛谷雅文  
後列左から 江口秀史 前田敏子 酒井喜正 井上憲夫 竹腰篤 安田康紀（敬称略）

生より本部および大学の近況報告がなされ、仁泉会本部事業として仁泉会組織の強化の一環として、支部活動への支援、会員で構成される団体への支援、学生会員の加入促進、大学法人の名称が大阪医科大学となったことなどを話された。

講演は横野茂樹教授より「膠原病の見つけ方」の演題で行われ、膠原病を発見する時の手がかりとなる症状の解説や初診時に有用な問診、診療の部位、一般検査を述べられ、特にSLE、血管炎群、DM/PMの3疾患群では疑わしければ専門家を送る必要があることを力説された。

講演会終了後に記念撮影、ひき続き懇親会が開かれ、乾杯の音頭を最高齢者の山元貞彦先生（高医20期）がとられ、しばしの談笑後出席会員の近況報告が行われた。特に山元先生のお話は頭の切れも体の張りも良く、日頃の鍛錬の滲み出るパフォーマンスで出席者全員が感銘を受けた。会の終了時には全員で校歌を歌い、次回の再会を誓って解散となった。

### 支部会員参加者（敬称略）

山元貞彦（高医20期） 加藤鈴幸（学14期）  
神谷鉄彦（学14期） 石垣宏（学16期）  
山本明和（学21期） 前田敏子（学24期）  
井上憲夫（学25期） 江口秀史（学30期）  
葛谷雅文（学32期） 酒井喜正（学36期）  
竹腰篤（学40期） 安田康紀（学55期）

# 支部だより●●●

## 仁泉会阿倍野支部総会と懇親会の報告

文責／福本敏子（学24期）

平成30年10月27日（土）シェラトン都ホテル大阪『伊勢の間』にて、平成30年度の仁泉会阿倍野支部総会を開催し16名が集いました。藤本正三先生もお元気にお越しください、冒頭の挨拶の中で、ご趣味のオペラ鑑賞のため琵琶湖ホールにまで足を運んでいると楽しそうに語ってくださいました。阿倍野区医師会長の岡成樹先生には阿倍野区医師会報告をいただき、大阪鉄道病院婦人科部長の熊谷広治先生からは大阪鉄道病院の現状をお話しいただきました。予定していた協議事項も無事に承認され総会は終了いたしました。

総会の議事に続き、懇親会に移りましたが、今回は仁泉会大阪府連会長の霜野良一先生にご来賓としてお越しいただきました。霜野先生は



全国ならびに大阪府内の仁泉会支部の状況についてご講演くださり「仁泉会のさらなる活性化にむけて同窓生のご協力をお願いしたい。」と、強く訴えられました。高木力先生の乾杯のご発声の後、岡民子先生（学38期）のピアノ伴奏による真鍋和子先生のオーボエのコンサートを開催いたしました。オーボエ単独の演奏をお聞きする機会はありませんが、木管楽器独特の優しい心に染み入るような音色に皆、日ごろのストレスを忘れ、聞き入りました。阿倍野支部会員はクラシック音楽が趣味の先生方が多く毎回様々な楽器の演奏会を楽しんでいます。懇親会の最中にも、クラシック音楽談義に大いに盛り上りました。

今回も同門が一同に集い、有意義な病診連携、診診連携を図ることができました。阿倍野区で開業、勤務の方以外に阿倍野区在住の同窓生も大歓迎ですので、阿倍野支部に入会希望の方は、ご連絡をお待ちしています。

## 参加者

霜野良一先生（学28期）  
 藤本正三先生（学2期）高木力先生（学10期）  
 新宅敬夫先生（学23期）福本敏子先生（学24期）  
 伊賀千洋先生（学29期）横田博志先生（学30期）  
 中野晋吾先生（学34期）中野久美子先生（学34期）  
 岡成樹先生（学35期）岡民子先生（学38期）  
 熊谷広治先生（学38期）清水啓二先生（学44期）  
 二村吉継先生（学49期）西口昌樹先生（学49期）  
 宮本裕之先生（学51期）



## ご案内 第20回日本正常圧水頭症学会 テーマ 「新たな領域へ BEYOND THE HORIZON」

この度、第20回という節目に日本正常圧水頭症学会総会を平成31年2月23日（土）・24日（日）の2日間、大阪医科大学看護学部講堂（本部北キャンパス）にて開催させていただくことになりました。

本学会は、高齢化社会とともに増加し、高齢人口の1~3%が罹患する特発性正常圧水頭症に対して、関連する神経内科、精神科、脳神経外科、放射線科、リハビリ科あるいは解剖学や生理学など多くの臨床や基礎の科が一同に会し、新たな知見を報告いたします。

これまでの20年間で、日本の正常圧水頭症研究は世界をリードする様になりました。これはひとえに、脳外科だけでなく関連する各科がシンフォニーを奏でるがごとく、協力して研究してきたからであります。

「新たな領域へ BEYOND THE HORIZON」には、次の10年もまた日本が正常圧水頭症研究を牽引できるようにとの願いを込めており

ます。新たな領域としては、リンパ液としての髄液循環の解明、正常圧水頭症を見逃さない診断支援システムの確立などがあるでしょう。このような新たな領域に踏み出し、それらの研究が完成することで、正常圧水頭症患者の実に80%が見逃されているという現状を打破し、重い後遺症に苦しむ患者が激減することを切に望むしたいです。

ところで、宇宙飛行士が長期間宇宙に滞在すると、正常圧水頭症に類似する脳の変化がMRIで観察されました。これは髄液循環に重力が重要な役割を占めていることを示す知見であり、髄液循環メカニズムの解明の一助となるでしょう。本学会では、この領域の第一人者である Donna R Roberts 女史をお招きし「宇宙飛行士に起る脳の変化」と題して特別講演していただきます。その他にも盛りだくさんの講演を企画しております。ぜひとも皆様のご参加をお待ちしております。

## 支部だより●●●

### 平成30年度仁泉会住吉・住之江支部総会および懇親会の報告

文責／霜野良一（学28期）

平成30年10月20日（土）午後6時30分より大阪難波の「鳥よし本店」にて仁泉会住吉・住之江支部総会および懇親会が開催され、11名の先生方が出席されました。

総会は私、霜野良一（学28期、支部長）より大阪府連支部長会の報告、5月27日（日）に開催された仁泉会総会の報告（植木大阪医科薬科大学理事長、大槻学長、河野仁泉会理事長の講演の要約など）の後、会計報告を致しました。

その後、新支部長として住之江区の濱崎憲夫先生（学42期）を推薦したところ、満場一致で賛成して頂きました。

7時より今年91歳ながら現役で元気で頑張っておられる大野直樹先生（学2期）の乾杯の発声で懇親会が始まりました。焼き松茸、土瓶蒸

しを加えた会席料理に、各先生方のお酒が進んだところで集合写真を撮り、その後恒例の近況報告を全員にして頂きました。

柿本祥太郎先生（学24期）はアホウドリで有名な小笠原諸島の鳥島に行かれ、海中にそり立つ孀婦岩の絶壁に感動したことを熱弁され、濱崎憲夫先生（学42期）は広島県医師会との野球試合で、投げては5回無失点、打っては2塁打2本と投打に活躍され9対3で勝利したことを得意気にお話しされました。私、霜野は総会の二日前に久しぶりにしたテニスで転倒し、右鎖骨を骨折していることを話し、皆の「あほやなあ」という失笑を買いました。宮越一穂先生（学25期）は別の会があり、お忙しいなか、無理を言って参加して頂きました。他の先生方も色々な近況を真面目にまた可笑しくお話しして下さり、約2時間半の懇親会は大変盛り上がりました。

次回からは若くて元気の良い、新支部長・濱崎憲夫先生のお世話を開催することになりました。今回、欠席された先生方も次回からは是非、御参加くださいます様、切にお願い申し上げます。



また住吉・住之江区で開業・勤務されている、或いは居住しておられる先生方で本会の連絡が届いていない場合は、濱崎先生の方までご連絡いただければ幸いに存じます。何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

連絡先

〒559-0041

大阪市住之江区北島3-6-27

浜崎医院

TEL 06-6681-0361

当日の出席者は以下の通りであります。

(敬称略)

大野直樹（学2期）磯田幸太郎（学22期）

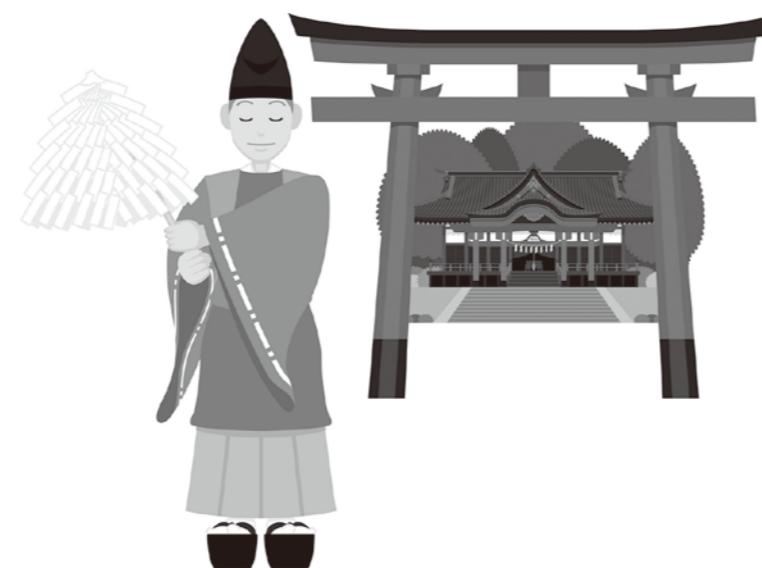
宮井元伸（学23期）柿本祥太郎（学24期）

濱田偉文（学24期）宮越一穂（学25期）

霜野良一（学28期）岩垣明隆（学34期）

村上康弘（学34期）松田茂樹（学41期）

濱崎憲夫（学42期）



## 学33期（昭和59年卒）同窓会： 「アラウンド還暦 燐々会」のご案内

S59卒の皆様

ご無沙汰いたしております。アラウンド還暦同窓会のお知らせです。

奮ってご参加ください！

S59卒でない方も（特に53年入学の方は）是非ご連絡下さい。

2019年9月7日 土曜日 午後6時30分から

THE THOUSAND KYOTO（京都センチュリーホテル：JR京都駅前）にて

12月に前回幹事の雨森正洋先生からメールでご案内頂きましたが、

メールが届いていない方は下記にメールアドレスをお知らせください。

詳細が決まりましたら、原則メールでお知らせする予定です。

担当 大森敦子（三上）メールアドレス：gaku33arakan@gmail.com

（尚、メールはあまりチェックしない…など、郵送での案内（出欠確認）をご希望の方は

仁泉会事務局 Tel 072-682-6166 Fax 072-682-6636までご連絡下さい）

前回幹事：雨森正洋

幹事：安住裕子（橋井）・河田了・北川靖・桑田克也・酒井泰彦・大森

## 支部だより●●●

### 河内長野支部交流会

文責／櫻井幹士（学45期）

このところ急に寒くなつてまいりましたが、皆様いかがおすごしでしょうか。

さて去る10月27日、第二回仁泉会河内長野支部交流会を河内長野の老舗料亭「喜一」にて開催いたしました。

長年休会状態となっていた河内長野支部ですが、平成28年に学22期の村田貞史先生のご发声により活動を再開し、今回2回目の交流会開催となりました。

今回、河内長野市で皮膚科を開業されている学17期の栗本圭久先生と、大阪南医療センター産婦人科部長の学44期 金村昌徳先生にご参加いただきました。第1回から引き続きご参加いただいた先生方は、村田貞史先生、学26期の濱田宏先生、学28期の齊藤治先生、学44期

の田中啓子先生、同じく学44期の追矢秀人先生、学47期の江富朋彦先生、そして私、学45期の櫻井幹士の7名で計9名の会となりました。今回も美味しい食事を頂きながら、大学時代の懐かしい話題で盛り上がり、楽しく意見交換が行われました。現支部長の村田先生が診療の拠点を堺市に移されるとのことで、来年度より追矢先生に支部長をしていただくこととなりました。本学から離れた田舎町でこれからも力を合わせて地域医療に貢献してまいりたいと思いますので、仁泉会の皆様方には今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 第23期生（昭和49年卒）同窓会開催のお知らせ

2019年は卒後45年となります。今回は北野博一先生が高知から参加されます。

以下の要領で開催いたしますので、ご参集頂きますようお願い申し上げます。

記

開催期日：2019年11月9日（土）18:00～

ホテル：インターナショナル大阪（大阪駅北グランフロント内）

世話人代表（仮）竹中洋、梶野興三、近藤敬一郎

# 支部だより●●●

## 平成30年度 仁泉会和歌山県支部総会のご報告 平成30年11月10日(土) 於 アバローム紀の国 和歌山市

文責／湯川裕史（学29期）

好天に恵まれた11月10日（土）に、本年も和歌山市のホテルアバロームにて、仁泉会和歌山県支部総会が開かれました。

本日のご出席は17名です。本年も中田勝次教授（高17期）にご出席いただきました。酸素ボンベを携えながらのご来和に頭が下がる思いです。特別講演には、本学呼吸器外科准教授の花岡伸治先生をお招きしました。

まず、本年度に亡くなられた会員の先生を悼み、黙祷を捧げました。丸山定之先生（学14期）、北林昭三先生（高19期）の2名の方々です。



前列左より 西岡 古田 田伏 中田 花岡 橋本 向井  
中列左より 塩崎 村上 柳川（百）湯川 柳川（泰）松谷  
後列左より 家田 木下 坊岡 丸山 藤田

今年度より役員が交代しましたので、総会は、まず田伏俊作新支部長（学20期）にお言葉を頂きました。新任の挨拶に続いて、大阪北部地震の被災を痛まるとともに、和歌山県の発災の際には仁泉会員の協力が必要であり、県支部の規約にも、被災された会員の方への見舞金制度を設けている事を伝えられました。大阪薬大との合併によって大阪医科大学となったことにより、薬学部出身の方で和歌山に親睦会などがないのか、あれば交流していきたい旨、話されました。中田先生のご出席、特別講演の花岡先生にお礼を述べられ、会員の活躍については今回は松谷良清先生（学32期）のご診療の新聞記事を披露されました。

総会議事は湯川裕史（学29期）の議長で、会計の塩崎憲先生（学42期）より会計報告がありまして、会計監査の向井龍一郎先生（学27期）から適正であることを報告され出席者に承認されました。続いて庶務報告は村上浩一先生（学32期）より、会員の現状、変動など

を報告いただき、会の活動として、名簿作成、勉強会、役員会開催（4月頃）、本学見学など新たな取り組みも提案されました。最後に次回の開催日は、医師会活動をされている先生方が多いため、次年度の医師会の予定も踏まえて、改めて11月第2週か第3週を役員会で決める事としました。

総会に引き続き、特別講演を本学呼吸器外科花岡伸治准教授に頂きました。花岡先生は和歌山に非常にご縁が深く、お父様が和歌山ご出身であられ、明日は墓参りに行かれることです。今日は、数日前に足を負傷されたにも関わらず松葉づえでのご参加です。

肺癌は、死亡率、5年生存率が極めて悪く、その罹患率は県別でも大阪、和歌山が上位に位置しているようです。外科治療の歴史を披露して頂きましたが、欧米ではGrahamらが1933年に左肺全摘を行い、本邦では小沢らが1938年に肺結核の肺切除を行って以来、肺手術は連綿と進歩発展を繰り返して現在に至っているようです。特に1990年前後から内視鏡手術が発達してきており、VATS（ビデオ補助胸腔鏡手術）C-VATS（完全鏡視下手術）SITS（単孔式胸腔鏡手術）を経て、今やロボット手術に取り組んでいかれるそうです。

最後に大阪北部地震の被災状況をフォトでご報告いただき、水浸しのフロアの写真に皆さん驚きの声が上がっていました。そういう災害をものともしない中央手術棟の壮大さとハイブリッド手術室の精錬さも見せて頂きました。2027年の大阪医大創立100周年に向けての取り組みにも言及されまして（ちなみに大阪薬大は2029年に創立125周年）ご講演を終えられました。花岡先生、有難うございました。

会場を移して、懇親会会場ではまず集合写真のあと、開宴は田伏支部長の挨拶、古田浩太郎先生（学14期）の乾杯で始まりました。ひとしきり歓談の後、例年通り席順に先生方にスピーチを頂きました。出席の先生方はほぼ毎年

出席して頂いていますから、それぞれの学生時代の話は以前に伺っていました、今回は現在の体調の話、趣味や旅行の話、今後の目標などを報告される方が多かったようです。感嘆の声や冷やかしの声がそこかしこから上がって会場がどっと盛り上がるは例年以上だったようです。最後に中田先生の話の後、学歌の合唱でお開きとなりました。

二次会は同ホテルのラウンジで、懇親会で語り足りなかったことを語り合いました。

いつもこの文章の最後に書くことですが、もっと多くの方が総会に出席して頂ければと思います。特に今回は若い先生方の欠席が残念でした。来年はよろしく。

出席の先生方（敬称略）

中田勝次（高17期）古田浩太郎（学14期）

田伏俊作（学20期）西岡昭規（学23期）

橋本忠明（学25期）向井龍一郎（学27期）

柳川泰彦（学28期）湯川裕史（学29期）

柳川百世（学31期）松谷良清（学32期）

村上浩一（学32期）藤田定則（学38期）

木下博之（学41期）丸山晋右（学41期）

塩崎憲（学42期）坊岡進一（学43期）

家田淳司（学53期）

## 編集部より

### 原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●50巻2号（平成31年3月1日発行）

締切 平成31年1月末日

●50巻3号（平成31年5月1日発行）

締切 平成31年3月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail : jimu@jinsenkai.net FAX : 072-682-6636

# 支部だより●●●

## 平成30年度尼崎伊丹支部総会

文責／鈴木克司（学31期）

平成30年度は例年より遅く11月10日（土）午後5時20分よりホテルヴィスキオ尼崎にて開催され11名の同窓が参集しました。通常のように筆者が進行、会員異動報告として先般逝去された横田友二先生（高医19期）に全員で黙祷を捧げました。横田先生は尼崎市医師会・兵庫県医師会で副会長まで務められた大先輩でお元気な頃にはご多忙の中でも支部の行事にもよく参加くださり、会員の多くが大変お世話になつた方です。

開会にあたり大森英夫支部長が挨拶され、仁泉会理事会でも各地の支部活動が低調で活性化の必要性が話題になっていることにふれ、尼崎市内・伊丹市内で開業している同窓をさらに把握するとともに、基幹病院勤務医の同窓に積極的に声をかけ総会に無料招待する方針を述べ参加者からも賛同を得ました。

主な議事は会計決算で、鈴木が前回総会（平成29年8月）以降の経理（別記）を説明、大隈義彦前支部長（学9期）の監査報告後、承認されました。

今回の特別講演には筆者の同級生の神戸市垂水区で井尻整形外科を開設されている井尻慎一郎先生（学31期）をお招きし「関節内注射の感染率とその対応」とのタイトルで臨床面のみならず医療機関の運営にも大変有用なお話を伺いました。井尻先生は非常に研鑽意欲旺盛で、開業の傍ら日常診療での疑問の解決のため自院での患者データを詳細に分析されています。講演ではまず外科的治療の歴史がいかに創部感染との戦いであったかにふれ、関節内注射の利点と欠点、感染リスクを詳しく説明され、開業以来約28万回実施された関節内注射症例の中で5

例とはいえ苦い経験として感染を発生させたこと、その患者背景と事後の対応につきオープンにお話しされ、詳細な問診等でリスクマネジメントをしっかりと行っていること、その基本姿勢は「糞（あつもの）に懲りて膚（なます）を吹く」以上に「糞に懲りて氷を吹く」であると結ばれ、参加者は非常に感銘を受けたことだと思います。講演後も活発な質問が多数飛び交い、井尻先生も大変やりがいがあったと言ってください、招いた筆者も幹事として良い仕事ができたと同窓への感謝の気持ちでいっぱいになりました。他の支部でも機会があれば是非同窓の講演を企画していただければ同級生として幸甚です。

総会終了後の懇親会でも井尻先生から貴重な経験を語っていただき、医療安全の観点から、医師は日々研鑽するだけではなく職員に浸透させるリーダーシップが求められること、万が一不幸にして紛争化しても医師会員であるからこそ守られる面があること、それには同窓とのつながりも大いに寄与することなど、招待した開業3か月の西岡清訓先生にはとりわけ有意義な情報をお持ち帰りいただけたのではないかと思います。

懇親会閉会後も支部長以下数人で井尻先生を囲んでの二次会をもち、同窓会活動につき語り合って大いに盛り上りました。

出席者（敬称略）

大隈義彦（学9期）陳京生（学21期）  
大森英夫（学25期）山崎剛（学30期）  
井尻慎一郎（学31期）鈴木克司（学31期）  
中山康弘（学35期）松浦浩太郎（学35期）  
島田哲志（学36期）浜本順博（学40期）  
西岡清訓（学42期）

## 尼崎伊丹支部会計報告（平成29年8月～30年11月）

|                                   |                         |
|-----------------------------------|-------------------------|
| ①平成29年8月21日現在残高                   | 4,012,811円              |
| ②平成29年8月～平成30年11月収入（平成30年11月5日現在） |                         |
| 徴収会費（平成29年度分）（25名、うち本部会費免除者7名）    | 306,000+49,000=355,000円 |
| 徴収会費（平成30年度分）（24名、うち本部会費免除者6名）    | 338,000円                |
| 平成28年8月27日支部総会当日徴収参加費（7名）         | 70,000円                 |
| 本部会費徴収手数料                         | 2,550円                  |
| 利息                                | 17+18+18=53円            |
| 収入合計                              | 765,603円                |
| ③平成29年8月～平成30年11月支出（11月5日現在）      |                         |
| 平成29年8月支部総会開催関連費                  |                         |
| 内訳 若松支払い                          | 110,000円                |
| 講師謝礼                              | 30,000円                 |
| 本部会費（平成29年度分）                     | 180,000円                |
| 兵庫県支部連合会費（平成29年度分）                | 25,000円                 |
| 振込手数料                             | 756円                    |
| 通信費（切手代）                          | 4,320円                  |
| 支出合計                              | 350,076円                |
| ④平成30年11月10日現在残高（①+②-③）           | 4,428,338円              |

## 井尻慎一郎先生 ご略歴

1957年 神戸市にて出生  
1982年 大阪医科大学卒業 母校一般消化器外科入局  
1984年 京都大学医学部整形外科入局  
京都大学付属病院・愛媛県立中央病院・兵庫県立塚口病院・公立高島総合病院  
1990年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了  
1994年 神戸市立医療センター中央市民病院  
2000年 井尻整形外科開設（神戸市垂水区）

おもな著書  
腰痛はガンでなければ怖くない（創元社）  
曲がる腰にもワケがある（創元社）  
整形外科Q&A（創元社）  
痛いところから分かる骨・関節・神経の逆引き診断事典（創元社）  
筋肉のからくり 動かし方を変えるだけでコリと激痛が消える！（宝島社）  
ドクター井尻の首・腰・関節の痛みに効くかんたん体操（DVD、創元社）  
(最新刊：仁泉会ニュース第49巻第4号にて紹介)



前列左から大隈・大森・井尻の各先生と筆者  
後列左から松浦・陳・浜本・西岡・山崎・島田・中山の各先生

# 支部だより●●●

## 平成30年度仁泉会西宮支部総会報告

文責／岩下敬正（学36期）

平成30年6月30日に仁泉会西宮支部総会をホテルヒューリット甲子園にて開催しました。

学31期 原 均支部長の開会の辞に続き学術講演会に会員一同で参加しました。

今年は学35期 神戸大学消化器内科特命教授 梅垣英次先生をお招きして「酸分泌抑制療法の今昔物語」の演題で御講演いただきました。H2ブロッカーの発明からプロトンポンプインヒビター、P-CABの発明とそれに伴う臨床現場での治療手段の変遷についてヘリコバクターピロリの話もふまえ詳しくご講演いただきました。

その後、支部総会を行い原 均先生の任期満了に伴い互選により学36期 岩下敬正が新支部長として選任されました。

次に懇親会では、来賓として学20期の仁泉会副理事長安藤嗣彦先生と学25期の兵庫県医師会理事、仁泉会尼崎伊丹支部長の大森英夫先生をお招きお話を頂戴しました。

引き続き学1期の西林茂祐先生の乾杯の御発声により会は幕を開け、今年は新入会員として学45期の宮下恵実子先生をお迎えしご挨拶をいただきました。

また今年も出席会員の近況報告として全員に



1分間スピーチをしていただき、会員相互の親睦の輪を広げました。

最後には、大阪医科大学学歌を斉唱し、来年再会することを約束してお開きとなりました。今年は36名と昨年よりやや多い出席者でありましたが、今後も総会のあり方など工夫してより多くの会員の方々に進んで参加していただける支部会にしていきたいと考えております。

### 参加者（敬称略）

梅垣英次特命教授（学35期）  
安藤嗣彦仁泉会副理事長（学20期）  
大森英夫仁泉会尼崎伊丹支部長（学25期）  
西林茂祐（学1期）藤堂勝巳（学15期）  
中島督夫（学21期）木下光雄（学23期）  
常田 實（学26期）岩田 隆（学27期）  
田中真一郎（学27期）小金井 彰（学28期）  
三宅裕治（学28期）永田裕人（学31期）  
原 均（学31期）山陰圭一（学31期）  
仁木正己（学32期）越智 豊（学32期）  
大野正博（学33期）田中 功（学33期）  
前田 環（学33期）辻 雅夫（学34期）  
浮田 透（学35期）山本修士（学35期）  
岩下敬正（学36期）松本晃一（学36期）  
石塚俊二（学39期）徐 信夫（学39期）  
鳥山成樹（学40期）増原完治（学40期）  
瀧川直秀（学42期）宮下恵実子（学45期）  
金山雅子（学46期）山田佳孝（学46期）  
安井憲司（学48期）浅井 靖（学49期）  
横山和武（学52期）

以上 36 名

# クラス会だより

## 平成30年度41会 (学15期 昭和41年卒) 同窓会

文責／菊田 匡（学15期）

今年の同窓会が11月10日（土）～11日（日）彦根 やす井旅館で行われました。

41会の同窓会は約20年前から毎年観光を兼ねて開催されています。

全員の記念撮影のあと、勘田会長の司会進行で総会が開始され、初めに物故者の報告がありました。今年は2月に井上太平さんが亡くなられており、同級生24名が亡くなられた事になります。喜寿を越える年齢になったとはいえる多くの人の早いお別れとなってしまいました。一同物故者に黙祷をささげました。続いて議題や報告事項については、連絡網は従来通りFAXを利用する事になり変更内容の説明や同窓生の消息情報のやり取りがありました。会計報告、100周年事業の説明、次年度幹事の提案や、今後の同窓会のあり方などが話し合われま

した。特に異議なく総会は終わりました。引き続き桜井先生の発声で乾杯。懇親会に移り、料理旅館自慢の料理、銘酒を楽しみながら歓談。昔の懐かしい思い出、近況、や最近の医療界の話題などで深夜まで盛り上がった。

翌日は気持ちの良い秋晴れで彦根城、博物館巡りをしたあと、湖岸道路に出て琵琶湖の景色を楽しんだ。期待の紅葉狩りをするべく教林坊に上ったが、まだ紅葉が十分でなかったのが残念。昼食は近江八幡駅前のレストランティファニーで近江牛しゃぶしゃぶと美酒で満腹。ひとしきり歓談し、歩き疲れが取れたところで2時半頃に解散した。次年度は鹿児島で開催の予定。出席者12名（敬称略）

阿部宗昭、尾上浩平、梶山瑞夫、勘田紘一  
菊田 匡、北浦 泰、児玉（金沢）千代子  
桜井（外山）公子、谷河精規、谷尻 仁  
藤堂勝巳、山口信行  
ホームページ  
<http://www2.gol.com/users/ip0608079188/>



# クラス会だより

## 46会 卒後47年総会並びに懇親会報告

文責／安藤嗣彦（46会代表・学20期）

平成30年10月27日、神戸の中華料理の名店、第一楼にて、卒後47年の同窓会が開催されましたので報告いたします。参加者は30名と、例年通り、大きな変動はありませんでした。総会では、物故者、川島吉永君（H30年4月14日逝去）に黙とうをささげました。次いで、クラス評議員の黒川彰夫君、メール責任者の木野昌也君（北摂病院院長、本年度より高槻市医師会会長）より挨拶をいただきました。木野君は、メールのアクセスがほとんどないのを嘆いていましたが、これからクラス連絡網を構築するうえで、大きな課題と思われます。次いで、安藤が、前回のクラス会（平成28年）の会計を報告し、了解をいただきました。次のクラス会の開催地並びに幹事については、京都地区とし、幹事は尾

崎信之君、藤田きみゑさんに引き受けいただきました。又、3年度には、卒後50年の節目となり、記念の46会をとの案もありましたが、今後、検討することとなりました。

遠方からは、東京から新妻忠君、甲府から今井秀人君、愛媛県から茎田祥三君、滋賀県長浜市からは橋場信之君が、駆け付けてくれました。懇親会は、芥川公昭君の乾杯の音頭で始まり、自己紹介になると、ボルテージはさらに揚がり、会は、大いに盛り上りました。安藤が、本年度の仁泉会総会の資料を基に、大学の現況を説明すると、あまりの変貌に、感嘆の声も聞こえました。料理は、我々の年齢では食べきれず、かなりの食べ残しが出ましたが、一部の人はお土産として持って帰りました。最後に学歌を齊唱し、記念撮影で解散となりました。

尚、46会メール網が構築されていませんので、住所変更の際は、必ず仁泉会本部へ連絡してください。46会の案内状は、本部より発送しますので。



## 出席者名簿（敬称略）

|      |      |      |       |
|------|------|------|-------|
| 芥川公昭 | 木下和之 | 中西一絵 | 平野敏行  |
| 安藤嗣彦 | 茎田祥三 | 中野和子 | 弘田俊行  |
| 池田 良 | 倉重哲也 | 長尾 光 | 藤田きみゑ |
| 石上義樹 | 栗本一孝 | 南谷広重 | 古川恵三  |
| 今井秀人 | 黒川彰夫 | 新妻 忠 | 松本泰仁  |
| 尾崎信之 | 塩路清一 | 西野泰典 | 山崎紘一  |
| 革島康雄 | 田中孝生 | 橋場信之 |       |
| 木野昌也 | 名方潔  | 林 達信 |       |

## 編集部より

### 会費納入のお願い

年会費

平成30年度 10,000円

平成29年度 10,000円

平成28年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

## 第32回大阪医大女医会 各科医療勉強会のご案内とご連絡先登録のお願い

女性会員の先生方におかれましてはご健勝のことと存じます。

第32回大阪医大女医会各科医療勉強会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。さて、女性医師の活躍も目覚ましい昨今、仁泉会も1200名を超える女性会員を擁しております。これまでには、出席者の当日会費でまかなえる範囲内でご案内状をお送りしておりましたが、より多くの先生方にご案内を差し上げご参加頂きたいと考えております。この機会に仁泉会女性会員の皆様にメールアドレスのご登録をお願いいたします。

下記メールアドレスまで

①氏名（旧姓）②卒業年度もしくは学期 ③メールアドレスをお送りください。お手数をおかけしますが、皆様のご協力をお願ひいたします。

**仁泉会内女医会メールアドレス：omc-women@jinsenkai.net**

記

医療勉強会／講師 玉置淳子先生（母校衛生学・公衆衛生学教室教授）

日時／2019年6月8日（土）午後6時より

場所／ホテルグランヴィア大阪（JR大阪駅直結）

担当幹事：相馬葉子（学38期） 神吉理枝（学44期） 神吉佐智子（学48期）

# クラス会だより

## 51卒クラス会

文責／大森英夫（学25期）

2年毎開催の同窓会を平成30年8月25日に、神戸ポートピアホテル本館29階にある「聚景園」にて24名の参加を得て開催致しました。

卒後42年を過ぎ、昭和51年卒業時93名であった同窓も87名となりました。会に先立ち、永見君、迫君、田村君、米花君、前田（裕）君、豊田君の6名に思いを馳せ黙祷を捧げ、子日君の乾杯の音頭で会食に移りました。舌鼓を打ちながら、参加者全員が自己の近況等を披露しましたが、全員が一言で済まず、相変わらず賑やかな面々でした。それぞれが独自の人生を歩んでいる事に勇気づけられ、大学の近況報告をする時間が無い間に時間となり、2年後京都での再会を約束し解散となりました。

### 参加者

浅田、浅野、石原、井上、大島、大西、岡  
大森、河野、小嶋、友成、中、子日、橋本  
波多、早川、松本（和）、圓尾夫妻、水田  
都、宮崎、山本（良）、横山



# クラス会だより

## 学27期生 卒後40周年記念同窓会 (第11回同窓会) 開催報告

文責／大槻勝紀（学27期）

平成30年10月13日（土）午後6時より「学27期生 卒後40周年記念同窓会」を帝国ホテル大阪3階【鶴の間】にて開催いたしました。同窓会は3年に1度の頻度で開催していますが、前回、茂松茂人君の大坂府医師会長就任のお祝いを兼ねた同窓会から2年後の開催となりました。今回の同窓会のご発案は、井村俊郎君が去る5月に学長室に別の用事で訪ねて来られ、その際に、卒後40周年になるとお話を頂いたのがきっかけでした。普段は気にしていなかったのですが、昭和53年卒業以来、卒後40周年にあたる年であり、改めて考えてみると元内科学Ⅳ教室木村文治先生（現在は三島南病院長）をはじめ大学等で同級生が定年退職を迎えた年でもあり、また「平成最後」の開催となる、様々な意味合いを持つ節目の同窓会になりました。



発起人の一人である上野 豊君（茨木市医師会長）による、さすがの手慣れた司会進行のもと、はじめに藤崎恭大君が去る9月にお亡くなりになったとの悲しい訃報の知らせがありました。黙祷を捧げた後、まず私から大学の近況などお話し、続いて茂松茂人君よりご挨拶を頂き、井村俊郎君による乾杯のご発声で開宴致しました。参加者は30名、行事の多い時期ということもあり、いつもよりやや少ない人数ながらおなじみの面々、その中に、顔と名前が一致しない2名の珍しい顔ぶれがあったのでたずねてみると、辻本 豪君と米沢嘉啓君でした。卒業後初めての参加で、「40周年」「平成最後」のキーワードに賛同して参加してくれたとのことでした。

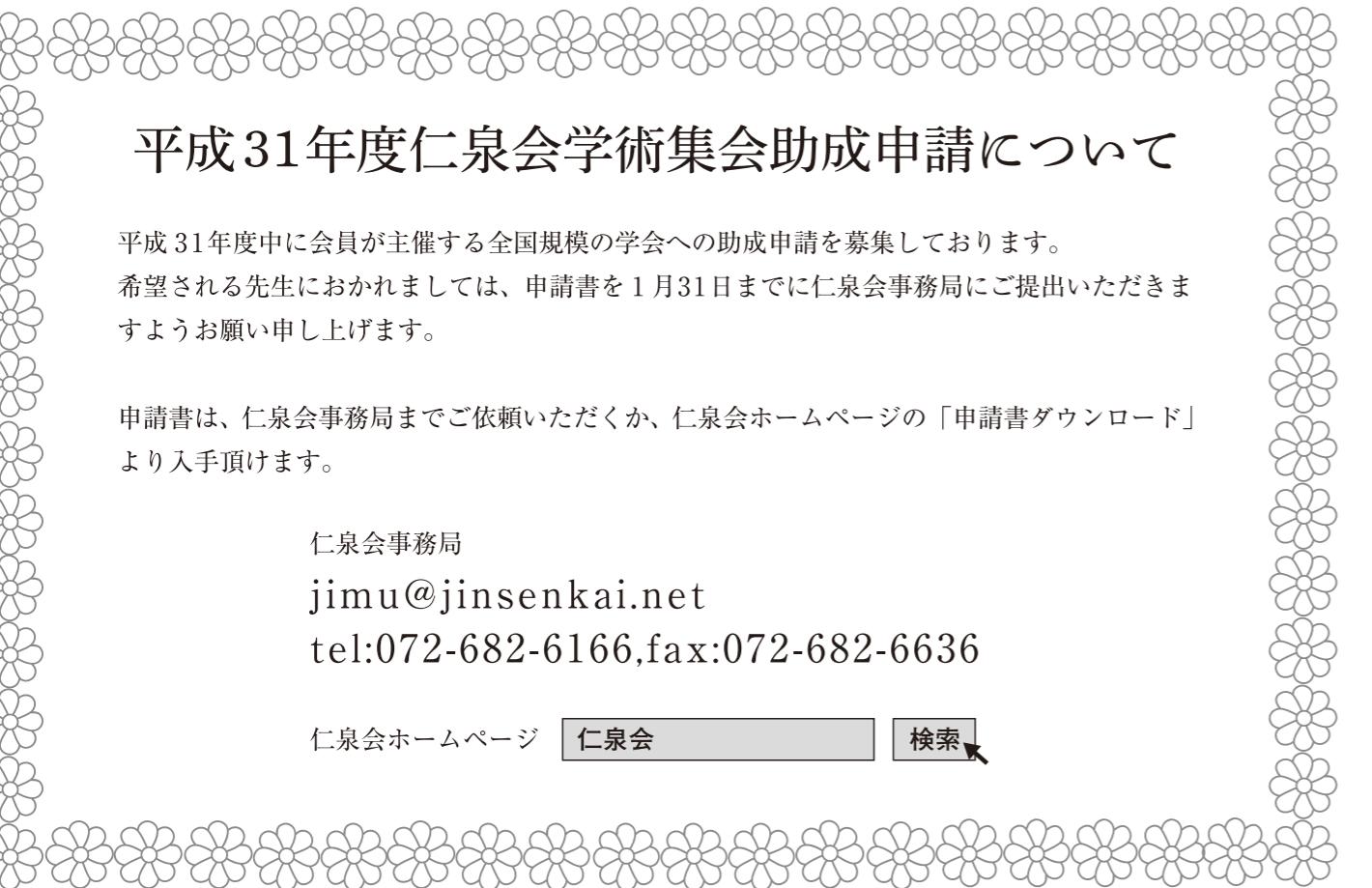
一番遠方ながらほぼ毎回参加頂いている静岡・伊東から立花正史君（立花胃腸科外科院長）や向井龍一郎君（藤民病院院長：120床療養型常勤1人で奮闘中）をはじめ、順次に近況などのスピーチを頂くうちにあつという間の歓談の2時間は進み、最後は木村文治君の締めにより盛会のうちに一次会がお開きとなりました。

平成30年は大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号、記録的な猛暑と次々に災害、異常現象が起こりました。今回不参加の松本剛昌君（倉敷

成人病センター外科勤務)は西日本豪雨で特に被害の大きかった倉敷市真備町箭田に関連施設があり、2階の中間位まで水に浸かったと聞いており、自然災害の恐ろしさを思い知らされました。他に被害に遭われた方も多くおられることと思い、改めてお見舞い申し上げます。

記念撮影の後は、二次会に20名が残り23階のホテルバーに席を移し酒盃を重ね盛り上りました。白江淳郎君(大阪支払基金副審査委員長)は同日、支払基金近畿主任会議と重なり一  
次会は欠席でしたが、二次会から駆けつけてくれました。

ご参加下さった同級生諸君有難うございました。また好季節に帝国ホテルの立派な会場を手配して頂いた上野 豊君に改めてお礼申し上げます。



## 平成31年度仁泉会学術集会助成申請について

平成31年度中に会員が主催する全国規模の学会への助成申請を募集しております。

希望される先生におかれましては、申請書を1月31日までに仁泉会事務局にご提出いただきま  
すようお願い申し上げます。

申請書は、仁泉会事務局までご依頼いただくか、仁泉会ホームページの「申請書ダウンロード」  
より入手頂けます。

仁泉会事務局  
jimu@jinsenkai.net  
tel:072-682-6166,fax:072-682-6636

仁泉会ホームページ [仁泉会](#)

### 参加者(敬称略 五十音順)

|       |        |        |
|-------|--------|--------|
| 板橋 司  | 今井 秀   | 井村 俊郎  |
| 植坂 俊郎 | 上野 豊   | 宇野 耕太郎 |
| 大槻 勝紀 | 河合 尚樹  | 北 祥男   |
| 北江 秀博 | 北川 真   | 木村 純平  |
| 木村 弘  | 木村 文治  | 茂松 茂人  |
| 末吉 公三 | 立花 秀一  | 立花 正史  |
| 辻本 豪  | 中林 愛晶  | 野村 裕   |
| 福本 仁志 | 細井 順   | 前田 隆義  |
| 南川 辰夫 | 向井 龍一郎 | 山下 弘道  |
| 山本 保範 | 吉田 悅三郎 | 米沢 嘉啓  |

## 仁泉ひろば

jinsen-park

### GAMBIT

文責/佐々木進次郎(学8期)

Gambit(ギャンビット、ガンビット)はチェスの序盤の手のことだが、他に策略、会話を始める糸口などの意味もある。われわれ循環器疾患の診療に携わったものは、Gambitといえばまず Sicilian Gambit を思い浮かべるであろう。Sicilian Gambit は1990年に欧米の心臓病学会不整脈分科会のメンバーがイタリアのシリーア島に集まり、新しい観点から討論・提唱した抗不整脈薬の分類である。Gambit と言うからは単なる分類にとどまらず、治療の序盤における戦略の意も含むものであろう。従来、Vaughan Williams の提唱した分類が広く用いられてきたが、これは基本的に心筋細胞の活動電位に対する抗不整脈薬の作用により分類したものである。しかし、活動電位から説明できない薬物が含まれていたり、それまで抗不整脈薬として用いられてきた ATP、ジギタリス、アトロピンなどの薬物が含まれていないなどの問題がある。Sicilian Gambit は活動電位ではなく、不整脈の発生機序、薬物の特性、イオンチャネル、ポンプ、受容体などの作用点による抗不整脈薬の分類で、標的に対して論理的に薬物選択ができるように工夫されている。だが、この新分類はとりわけ私共のような分子生物学に疎い者には馴染みにくく、簡単な Vaughan Williams 分類の方がわかりやすい。最新の MERCK MANUAL(20版、2018年)も Vaughan Williams 分類を取り上げ、Sicilian Gambit には触れていない。

チェスについては私は全く無知だが、その Gambit にはキングス・ギャンビット、クインズ・ギャンビットのほかに国名などを付けた十数種があるようだ。ゲームの序盤戦略と言えるものは囲碁や将棋にもある。囲碁では「中国流」「小林流」「三連星」などの布石や盤隅での定石がこれに相当し、将棋には「居飛車」「振り飛車」

戦法があり、夫々に「相」「対抗」の戦型がある。私は医大の学生時代に同級生のY君に囲碁を勧められ、「君は筋がいい」とおだてられたが、結局、大まかなルールを覚えただけでやめてしまった。田舎の開業医であった祖父が「尻が重くなるから医者は碁をやらない方がよい」と言っていたのを思い出し、「じいさんの遺言だから碁はやらないことにした」と言い訳した。「医者の碁を知らず患家の矢の使い」の江戸川柳はこの辺の事情を上手く表わしており、祖父の忠告は医者の心構えとしては当然であろう。確かに祖父が碁を打っている姿を見たことはなかったが、ただ、不思議に思ったのは、祖父の持ち物の中に囲碁のセットがあったことである。囲碁好きをよく言わない人には他にある。吉田兼好は徒然草111段に「『囲碁・双六好みて明かし暮らす人は四重・五逆にもまさる悪事とぞ思う』と、ある聖の申しし事、耳にとどまりて、いみじく覚え侍り」と書いている。聖の言葉を借りて碁好きを非難している。彼はまた、193段では「つたなき人の碁打ばかりにさとく、巧みなるは、賢き人の、この芸におろかなるを見て、己が智に及ばずと定めて、よろずの道の匠、わが道を人の知らざるを見て、己すぐれたりと思はん事、大きな誤りなるべし」と述べている。要するに、碁が強くても知能が優れているわけではないと言っている。兼好法師が囲碁を嗜んだか否かわからないが、嗜んだとすればあまり強くなかったのではないか。

囲碁を嫌う人もあるが、その効用を説く人も多い。その一人、脳神経外科医の金子満雄氏は、長年患者を観察した結果、「感覚・知覚を司る右脳を使って生きてきた人はボケにくく、その右脳を強化するのに囲碁は有力な手段だ」と言う。昭和50年ごろから気心の知れた友人5、6人で年2回の一泊旅行に出かけるようになってから、私はまた時々碁を打つようになったが、対局数は月平均すればせいぜい1局ぐらいであった。大学を定年退職、2年前に事実上医者を廃業してから対局数が少し増えた。しかし、

もう上達は望むべくもない。外出が増えたことを必ずしも喜んでいない家内－注意力低下による事故が心配だと言うがーには「ボケ防止のためだ」を口実にしている。

私が医大の学生の頃、病理学教室に田部浩教授がおられた。先生は前任の岡山大学時代に島根県の宍道湖畔に発生する皮膚炎〈湖岸病〉が、ムクドリ住血吸 *Gigatbilharzia Sturniae* のセルカリアが原因であることを突き止められた。病理学の講義で先生が「ボ、僕がめった」とドヤ顔をされたのを思い出す。その田部先生、ある時、私の故郷の隠岐の島に講演のためにわたりたれた由。無類の碁好きの先生、早速島の強豪と手合させされたものの、あえなく敗戦。対局後の先生の感想は「勝負には負けたけど、囲碁の精神においては私が勝っていた」。岡山での先生の教え子で、この時の接待役を務めた叔父から聞いた話だ。碁好きには負けず嫌いや負け惜しみの強い人が多い？

戦いにおいて緒戦がものを言うことは「桶狭間」や「鶴越え」が示す通りで、囲碁の場合も自分の得意とする布石・定石が打てることが戦略上大切ではある。しかし、それだけで勝負に勝てるかと言えばそうはいかない。序盤を優勢に進めることができ、しかも中盤と終盤（ヨセ）の戦力が相手と同等かそれ以上であることが条件だ。緒戦はともかく、ミッドウェー海戦後敗戦に次ぐ敗戦で終わった太平洋戦争で明らかなるところだ。

## 役員交代

### 〔住吉・住之江区支部長〕

前支部長 霜野良一先生（学28期）  
↓  
新支部長 濱崎憲夫先生（学42期）

### 〔西宮支部長〕

前支部長 原 均先生（学31期）  
↓  
新支部長 岩下敬正先生（学36期）

### 〔島根県支部長〕

前支部長 中島 徹先生（学25期）  
↓  
新支部長 林 孝乾先生（学30期）

さて、Gambit はイタリア語の Gamba (脚) から派生したらしいが、それがなぜ戦略の意味に変じたのか私にはわからない。そういえばガンバ大阪というプロサッカーのチームがある。この名称を初めて聞いた時、恐らく「頑張る」を捩ったであろういい加減なネーミングだとと思ったが、「脚」に由来するとわかって、「脚」がものをいうサッカーのチーム名としてはなかなかのものと認識を新たにした次第。ついでだが、私はスポーツ一般の知識に乏しく、特にサッカーやラグビーのルールは今でもよくわからない。嘗て医大の同級生でサッカーの選手、後に医大サッカー部の監督や仁泉会会長を務めた樋原敬郎君にこんな質問をした。「サッカーの選手は何でみんな走り回るの、ゴール前に1人か2人いて、飛んできた球を蹴り込めばいいだろう？」あきれたのであろう、樋原君全く無言で私の顔を見つめていた。その樋原君も今はない。

「駆け抜けたつもりはないが早や晩年」昨年9月13日の毎日新聞川柳欄で見つけた神戸市中林氏の句だ。同感である。生存率の高さを誇っていた学8期もここにきて計報が続く。恒例のクラス会もここ数年は参加者10名前後と低迷している。一昨年、会の存続を決めたものの、出席者ゼロもそんなに先の話ではない。人生の終盤をどうヨセるか、思案しても早過ぎることはないだろう。

## 仁泉ひろば jinsen-park

### 大阪医科大学ラグビー部 仁泉ラガークラブ創部90周年記念総会 ならびに西医体優勝報告

文責／本出 肇（学34期）

大阪医科大学ラグビー部は、本学創立の翌年である1928年（昭和3年）に創部、2018年（平成30年）創部90年を迎え、9月2日、大阪医科大学・学1講堂にて仁泉ラガークラブ創部90周年記念総会を開催し、滞りなく終了することが出来ました。

まず創部90周年という節目の年に昭和41、42年の連覇以来、51年ぶり西医体優勝の報告をさせていただきました。一昨年ベスト8、昨年ベスト4と、徐々に力をつけ今年こそと意気込んでおりました。しかし6月18日大阪北部地震が発生、震災復興のため大阪医大さわらぎグラウンドが避難所となり1ヶ月間使用できず、さらに7月の西日本集中豪雨で、グラウンド状態が悪いまま十分な練習ができず、「ああ今年も優勝はむつかしいかな」とあきらめかけていました。しかしついに大会に入ると1戦ごとにチーム力が増していくのが実感され、完璧なディフェ



ンスの中、見事優勝を勝ち取りました。現役諸君にはいくら感謝してもしきれない思いです。

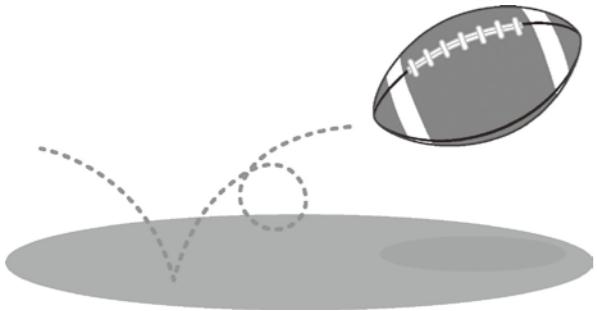
また総会の第2部に90周年記念講演会として日本ラグビー黄金時代にジャパンの魂と呼ばれ、全力プレーで多くの人たちに愛された林敏行氏（同志社キャプテン、神戸製鋼キャプテン、全日本キャプテン、オックスフォード大学歴代ベスト15、世界選抜ロック）に「樂苦美感即動」の話をいただきました。現役時代のハードであっても決してラフではない非常にクリーンな姿そのままに、ラグビーというスポーツがいかに人を感動させ、人間形成につながるかを力説されました。総会終了後、高槻市役所15階の中華菜館 桃莉にて懇親会を開き、現役当時の与太話を語り合い至福の時間を過ごさせていただきました。

最後に、私が現役の頃とは比較にならぬほど学業に時間を割かねばならぬ現役学生にとって、「きつい、汚い、怪我多い」の3拍子揃ったラグビー部は、慢性的な部員不足に悩んでおります。しかし、限られた時間の中で、強くなりたい、試合に勝ちたいという目標を持ち日々鍛錬をすることは、必ず医師になってから役立ち、また学生時代寝食を共にし、ラグビーに胸躍らせ仲間は、一生の宝となると信じます。今後も、大阪医科大学ラグビー部が、継続発展す

るよう祈念いたします。

## 現役員

- 会長 本出 肇（学34期）  
 副会長 片岡晃哉（学26期）  
 左古昌蔵（学34期）  
 現役監督 森本大成（学37期）  
 広報 米谷 昇（学42期）  
 会計 西田 剛（学49期）  
 監査 江角 章（学36期）  
 藤原一朗（学36期）



## 会員著書

疲れも不安も感じない、万全な自分になる!

# 医者が教える! 最高の体調を 引き出す方法

専門医が伝授する  
解消・改善の技術



いつものやり方をちょっと変えるだけで  
体と心がよみがえる！

スキー・ジャンプ界のレジェンド  
**葛西紀明選手**  
40代からでも自分の  
ピークは更新できる



## 筋肉を動かして解消する

痛みを覚えたらい段階で

筋肉を動かし痛みをやわらげる



TEACHER (40~70)

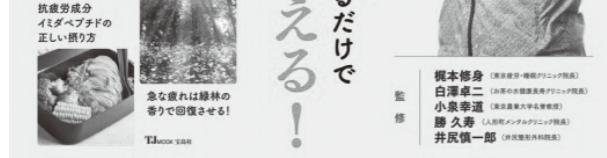
井尻慎一郎先生

## 医者が教える！ 最高の体調を引き出す方法

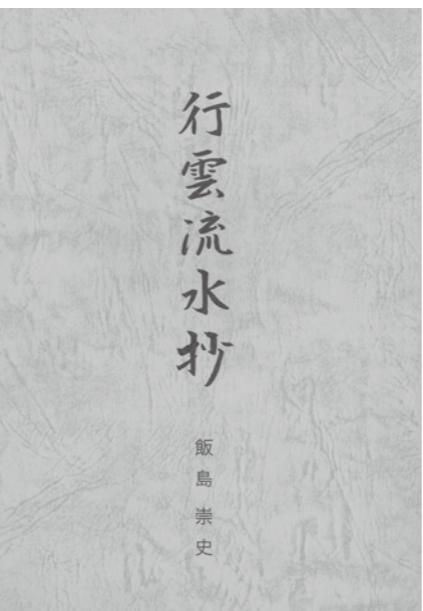
井尻慎一郎（学31期）／共同監修

出版社／宝島社

価格／780円+税



## 会員著書



## 行雲流水抄

飯島崇史／著  
自費出版

若い頃出会った言葉に「男一生のうちに残すもの。一軒の家、一本の樹、一冊の書」というのがあって、いつまでも脳裏の片隅から離れない。すでに家も樹（子孫のことと思う）も手にしたが書物が難関だ。加えて「ある人が生きていたという事実は、生き残った人の記憶の中に存在するのであって、生き残った人が死に絶えるとすべては無になる」という言葉も気になる。人生そろそろ終焉が近い。このたび当院の広報誌などにこつこつと掲載してきた随筆などの文章が80編ほどになったので本にまとめてみた。これで生きた証したい。私費出版で市販はしていないが、同期の方など、興味のある方には病院窓口で対応したいと考えている。

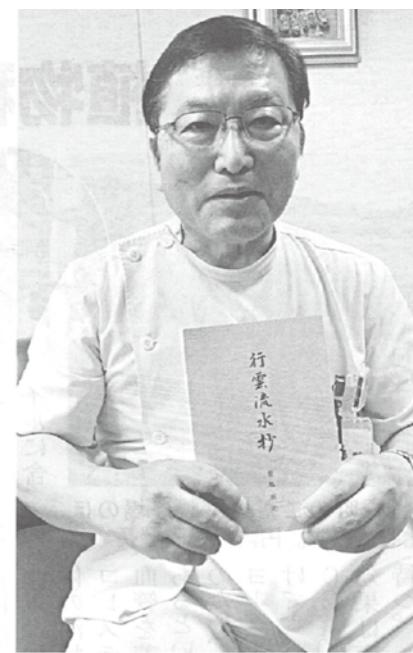
〒721-0952 福山市曙町3丁目19-18

蒼生会 楠本病院

名誉院長 飯島崇史（学25期）

TEL 084-954-3030

FAX 084-954-9085



## 「行雲流水抄」を自費出版 読み応え十分の80編掲載

医療法人 蒼生会 楠本病院 名誉院長  
いいじま たかし

## 飯島 崇史さん (67)

福山市曙町3-19-18  
電084・954・3030

経済レポート 2018年10月20日 1642号掲載

千春理事長・森末正博院長（森末正博院長）の名譽院長・飯島崇史さんが自費出版した「行雲流水抄」こううんりゆうすいしおう（210ページ）が話題になっています。同病院が現在の地に移転して今で30年となり、創設者で元理事長の楠本剛さんが今年の2月、90歳の生涯を終えた。葬儀の際、飯島さんは「一つの区切りとして何か形あるものを残しておかねば」という思いが脳裏を駆け巡り、これまで書き留めた文章を1冊の本にしておこう」と決断した。

題名は中国・北宋の文豪・蘇軾（そしょく）の言葉「行雲流水」（空をゆく雲と川を流れる水のように、執着することなく物に応じ、事に従つて行動すること）を採用した。飯島さんは2001年からスタートした病院広報誌「蒼生（そうせい）」の編集・発行にも携わり、ほぼ毎回原稿を提出。今年7月に70号を数え、自身の原稿は57編に達する。行雲流水抄には、蒼生のほか、ふくやま医師会会報などに寄稿した筆など約80編が掲載されている。楠本元理事長や病院のこと、社会の動き、趣味の旅行や食、読書、それに健康のことなど、ジャンルは実に幅広く、読み応えは十分。市販されていないが、希望者は病院の受付窓口で対応するという。

じ、事に従つて行動すること）を採用した。飯島さんは2001年からスタートした病院広報誌「蒼生（そうせい）」の編集・発行にも携わり、ほぼ毎回原稿を提出。今年7月に70号を数え、自身の原稿は57編に達する。行雲流水抄には、蒼生のほか、ふくやま医師会会報などに寄稿した筆など約80編が掲載されている。楠本元理事長や病院のこと、社会の動き、趣味の旅行や食、読書、それに健康のことなど、ジャンルは実に幅広く、読み応えは十分。市販されていないが、希望者は病院の受付窓口で対応するという。

新 聞 切 拔

終末期の医療はどうあるべきか——。名張市夏見の寺田病院で院長を務める板野聰さん(65)、写真IIがこのほど新刊小説「看取り請負人」死なせ屋ゴンがゆく」をルネッサンス・アイから出版した。

板野さん。同作は「星になつた少女」「伊達の警察医日記」に続く3作目で、医学雑誌「臨床外科」に長年連載してきたエッセーを基に編集した。

主人公は「こんな医者になりたい」という板野さん自身の夢を託した姿。作中に登場する患者たちは過去に実際に出会った人をモデルにしているという。

1年後の命日に合わせた。「患者さんの痛みを感じられる医療人であるため、改めてゴン先生に学ばなければならない」と思いを新たにする。

# 終末期見つめる 新刊小説を出版

寺田病院院長・板野聰さん



★★★三重県名張市で唯一の民間病院である「寺田病院」の院長としてご活躍中の板野 聰先生（学部28期）に関する記事が、当方の新聞に掲載されておりましたのでご紹介させていただきます。（学部10期 桑原公章）★★★

#### 支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL／072-682-6166 FAX／072-682-6636 e-mail／iimu@iinsenkai.net

新 聞 切 拔



# 長寿の作法

池原クリニック院長 池原伸直さん

7割は検便で発見できるといわれています。16年の調査では、兵庫県は検便実施率が40%程度。全国平均をやや下回っています。

大腸がんの中でも直腸部分やS状結腸は自覚症状が分かれやすく、出口にも近いため検便で発見しやすいです。逆に大腸の入り口部分は症状に気付きにくく、腫瘍が大きくなったり、転移したりしてから分かることが多いです。そのため、内視鏡検査で奥まで見ることも大切です。

ボリープが見つかれば全て切除します。当院では2年未満なら内視鏡で、それ以上であれば、ほかの病院に入院して治療方法を選択します。また、大きさ以外にボリープの形や色調によっては外科的手術を判断することもあります。

内視鏡検査で使う機器は年々進化し、一昔前と比べると

いけはら・のぶなお 1970年、神戸市灘区生まれ。大阪医科大医学部卒。神戸大医学部に入局。秋田赤十字病院や昭和大横浜市北部病院消化器センター、神戸大大学院医学研究科特命講師などを経て、2014年から現職。

影響を与えます。肥満の方の場合はボリープができやすい傾向にあるというデータもあります。

しかし、全く脂質を取らないというのはよくありませんし、大腸がんにかかるない食事というのは難しいです。バランスの良い食事と適切な運動を中心、「過度な分を適正に戻す」ということを少しでも頭に置いて過ごしましょう。

（聞き手・篠原拓真、協力  
・兵庫県予防医学協会）

## 池原さんが勧める 三つの作法

- 一、検便や内視鏡による検査で早期発見
- 一、異常がなくても定期的に検査を受ける
- 一、食事は「過度な分を適正に」を心掛ける

大腸內視鏡検査

先端にカメラの付いた細い管（内視鏡）を肛門から挿入し、大腸内の様子をテレビ画面で観察する。内視鏡で切除作業もできる。下剤などで腸管内をきれいにしてから検査する。

★★★2018年10月22日付神戸新聞に池原伸直先生（学46期）の記事が掲載されました。★★★

# 冊子切抜

## 「マルファン症候群などの大阪交流会」に参加して

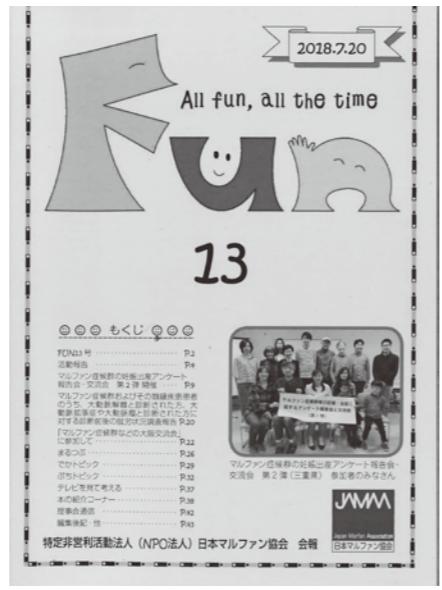
大阪医科大学 心臓血管外科 神吉佐智子

今回の交流会は、グランフロント大阪にあるナレッジサロンで開催されました。会を主催された猪井さんとは、本年2月に同じ場所で開催されたエーラス・ダンロス症候群(EDS)交流会でお知り合いになり、その後のメール交換で「是非、マルファン症候群などを含めて関西地区交流会を開催したい」という強い要望で今回の開催に至りました。もともと私がEDS交流会に参加するようになったきっかけは、診療を担当している患者さんから大阪で開催されたEDS全国交流会を紹介いただいたことでした。患者さんが日常生活や社会生活を送る上で問題となっていることを一人でも多くの人に知ってもらいたいという思いから、私に紹介があったものと思います。その後、「EDSの関西地区交流会を行いたいが会場の確保に難渋している」というお話を聞きし、会員制のナレッジサロン会議室を紹介しました。ナレッジサロンは大阪駅直結のアクセスしやすい場所にあり、バリアフリーの大小の会議室を有し関西一円から参加される交流会には最適だと思います。梅田スカイビルが近くに見える開放的な空間もウリです。ただ今回わかったことなのですが、18歳以下は入場できない規約になっており、小学生をお連れの参加者の方は待合スペースまでの入場となってしまいました。今後、お子さんが参加される場合には、同じ建物内にある有料の会議室の使用を検討しても良いと思います。

ところで、2000年に終了した「ヒトゲノムプロジェクト」以降の技術革新によって遺伝子解析ができる時代となり、マルファン症候群においても2010年に改定された診断基準(改定ゲント基準)では遺伝子検査が重要視されています。以前は身体的特徴や骨格の変形などの所見の有無でマルファン症候群の診断を行っていましたが、大動脈以外に特徴がない患者さんは診断できず類縁疾患との鑑別も困難でした。私の所属する大阪医大心臓外科では2011年から2014

年までは当時国立循環器病研究センターにおられた森崎隆幸先生と森崎裕子先生にご協力いただき、2017年末からは信州大学の古庄知己先生のご協力で遺伝子解析を行っています。2016年からは保険診療でオーダーできる検査となり、本年に入り保険診療での検査体制が整いつつあります。遺伝子解析による正確な診断は患者さんの治療に役立つだけでなく、患者さんのご自身の病気の理解につながり、血縁者の大動脈緊急症予防にもつながります。また、世界中で情報が蓄積されることによって、有効な治療法の開発にもつながります。

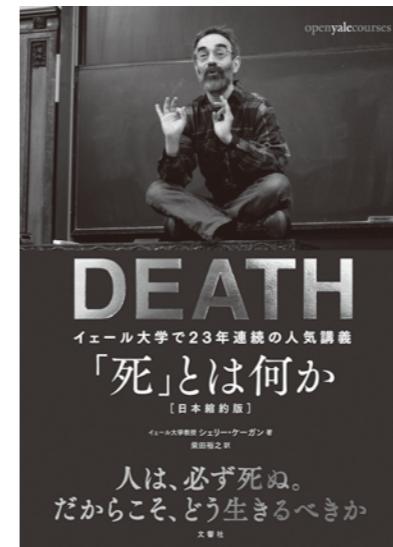
猪井さんをはじめ、国内外の患者会はとても精力的に情報の収集・共有・提供に尽力されています。そんな中、私に期待されていることは会場の確保だけではなく、参加される患者さんやご家族への情報提供だけではなく、医療者と一般市民に情報提供することだと思います。Rare Disease DayやAortic Dissection Awareness Dayなども猪井さんに教えていただきました。こういったものもを利用して日本国内での啓蒙活動にご協力させていただければと思います。



★★★JAMAA（日本マルファン協会）会報「Fun」に神吉佐智子先生（学48期）の記事が掲載されました。★★★

# 東雲 出張版

※「東雲」は文芸部の  
部誌のタイトルです。



「死」とは何か  
著者／シェリー・ケーガン  
訳者／柴田裕之

医療に携わると人の死に関わる機会が少なくない。人はなぜ死ぬのか。死はどういうことなのか。本書は米イェール大学の哲学の教授が20年以上に渡り開講してきた「死」をテーマにした講義を1冊の本にまとめたものである（日本語訳は縮約版）。日本人に馴染みの深い魂説だけでなく身体説・人格説なども交えた死の本質から始まり、死は悪いことなのか、人生の価値、自殺の合理性などについても論じられている。哲學的で理解が難しい部分もあるが、身近な例が多用されており、ときには図も入っていたりして読みやすく構成されている。死はいつでもタイミングが悪いものであり、不死の人生は望ましいものではない、自分が満足するまで生きられるのが最善の「生」である、という一節は自分の死生観に合っていて心に響いた。死にまつわる様々なテーマが語られており、死について、そして生きることについて深く考える機会になるだろう。医療者はもちろん終末期に向かう患者にも勧めたい一冊である。

大阪医科大学4回生 文芸部 しょうこ＆たまみ

## メディア掲載・書籍発行の際は 編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。(自薦・他薦は問いません)

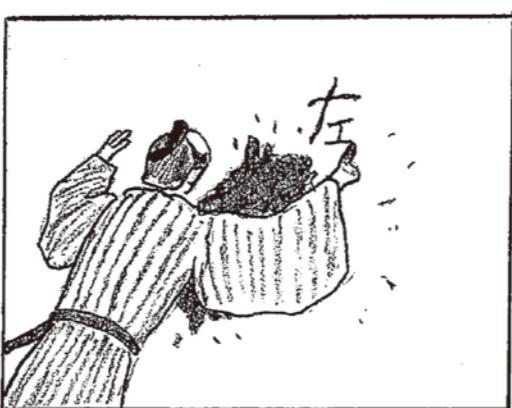
仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimu@jinsenkai.net



# まんが 第35回 スペシャル・拡大版

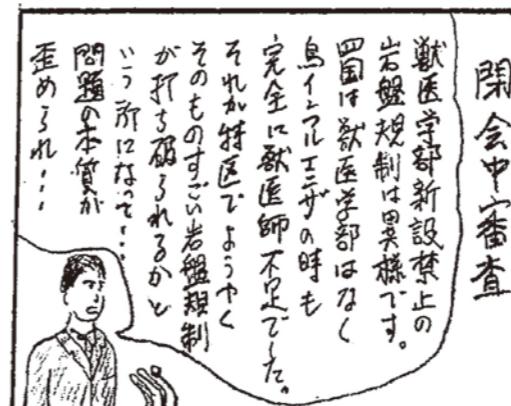
三月上旬

こだわる人



危険ポン太ツクル（学31期）

加計学園



専門



# エッセイ

## 歴史を彩った女性達（15）

西村 保（学4期）

### 出雲のお国

お国は出雲国杵築（きづき）の鍛冶職、中村三右衛門の娘として生まれた。長じて出雲大社の巫女となったが永禄（1558～1570年）頃に出雲大社修理勧進のため神楽を舞って諸国を巡回し、この間に「かぶき踊」を考案したと云われている。「かぶき」とは「かたぶく」つまり「傾く」で、女性が刀を差し、異装で踊り戯れることである。巡回の最後に京都の四条、鴨川の河原で興業したが、之が大評判となり、当時の豊臣秀吉も見物したと云われている。これが引き継がれ、あの独特の隈取り、衣装、所作の歌舞伎となって今日に至っている。つまり歌舞伎とは「ふざけた振舞い、異様な風俗一広辞苑一」の意で「歌舞伎」は「傾く」の当て字である。従って出雲のお国は歌舞伎の祖として現在、京都四条大橋の南側に建っている南座の反対側の欄干のたもとに出雲のお国の銅像が建てられている。

お国の晩年については不明である。

### 川上貞奴

本名は小熊貞で1878年（明治11年）に東京葭（よし）町の置屋、浜田屋の養女となり奴と名乗つて芸者となった。1894年にオッペケペー節で一世を風靡し、書生芝居を旗揚げした川上音二郎と結婚した。そして1899年、川上一座の米国巡業に同行して女優としてデビューし、翌年、パリの万国博覧会では「マダム貞奴」として盛名を馳せた。

以後は一座の中心女優として活躍し、1908年には日本初の女優養成所（のち帝国劇場に引き継がれた）を開設した。音二郎の死後は貞奴一座を結成し、1918年（大正7年）に引退して福沢桃介（福沢諭吉の養子で電力関係の実業家）と同棲して晩年を送った。



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は大阪北部地震、台風襲来と母校周辺でも被害が多発いたしました。本庶先生のノーベル医学・生理学賞受賞など嬉しい話題もありましたが、近年はなぜか悪いニュースばかりが目立つような気がいたします。また、世間にはなんとなく閉塞感が漂っているように思われます。

本年はいよいよ平成最後の年になります。年号が変わっても時間の流れが変わるわけではな

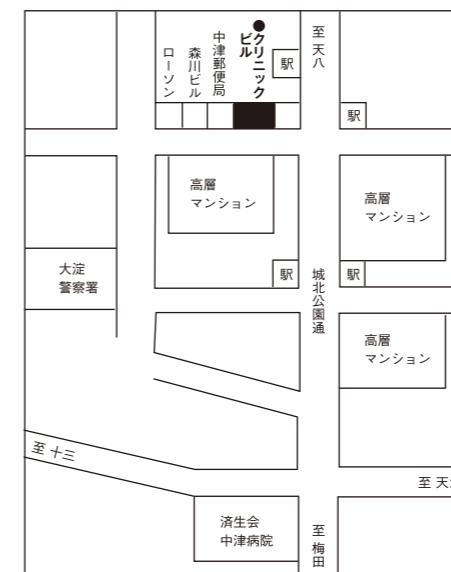
いでしょうが、これを機に明るいニュースが増えることを願っています。この新春号には、多数先生方からの新年ご挨拶を寄せていただきました。それぞれの先生方や支部等の近況を紹介していただいております。また、これから展望の記事もございますので、ぜひお読みください。

今年が仁泉会会員の皆様にとって幸多い一年になりますことをお祈り申し上げます。

（治）

## 医療ビル テナント募集

- ◆ 場所 大阪市北区中津1丁目11-6
- ◆ 坪単価 15,000円（相談） ◆ 保証金（相談）
- ◆ 共益費 30,000円



**クリニックビルのテナントを募集いたします**

★整形外科・耳鼻科・泌尿器科・美容整形  
皮膚科・小児科

★3Fエリア【90坪】

◆内装美装（自由に改装可）

3F 直通エレベーター有

1F ガレージ有

1F 内科盛業中

★地下鉄中津駅前 好立地条件一等地

★地下鉄中津駅すぐ人口密

開業をお考えの先生方、  
お気軽に問い合わせ下さい。

詳しくはお電話にて。

お問い合わせ先

仁泉会事務局 ☎072-682-6166

小山 ☎090-1480-5866

# 開業支援ドットコム

## 開業をお考えの先生方是非ご相談ください！

★ご開業場所の選定・調査 内装・空調等のご相談も承ります。

★ご開業時の税理士等のご紹介（弁護士・社労士・司法書士 etc）

ご開業融資のご相談も承ります。各行政への対応可能な有資格者もご紹介

★ご開業後の経営・運営のご相談

★医療機器・材料等のメーカーとの交渉

医業優先の煩わしい交渉事を一手に引き受けます。

◆ご開業時・ご開業後の様々なご相談事に親切・丁寧にご対応致します。

◆ご開業をお考えなら下記まで一度ご相談下さい。

### お問い合わせ先

開業支援ドットコム株式会社 担当：宮崎

090-2705-9997

# 医療ビル テナント募集

◆場所：大阪市浪速区難波中2丁目3-3

◆坪単価 12,000円 ◆保証金 家賃の10ヶ月分(要相談)

\* 家賃は共益費込となっております。



クリニックビルのテナントを募集いたします

★心療内科・泌尿器科・眼科・耳鼻科等に最適。

★3Fエリア【約40坪】になります。

◆内装美装（そのままお使い頂けます。）

1F・2F

消化器内科・肛門外科・内科・外科

4F

皮膚科・美容外科

5F

レディースクリニック

\*各階盛業中

★大阪難波駅徒歩すぐという好立地条件  
開業をお考えの先生方、  
お気軽にお問い合わせ下さい。

詳しくはお電話にて。

お問い合わせ先

仁泉会事務局

072-682-6166



“大阪医科大学関係者の皆様”へ

# FELICE で フェリーチェ 理想の結婚

フェリーチェは、メディカル人材企業との提携を通じて、

医療の第一線でご活躍の医師・歯科医師を中心にお迎えし、

理想の結婚をプロデュースすることを目的として

創設された会員制クラブです。

万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター

だからできる「洗練された出逢い」をあなたに。

### <成婚事例>

| 男 性        |    | 女 性           |       |
|------------|----|---------------|-------|
| 31歳 大阪医科大学 | 医師 | ♥ 29歳 大阪外国语大学 | 会社員   |
| 39歳 関西医科大学 | 医師 | ♥ 33歳 兵庫医科大学  | 医師    |
| 35歳 大阪市立大学 | 医師 | ♥ 31歳 大阪医科大学  | 医師    |
| 34歳 慶應義塾大学 | 医師 | ♥ 26歳 神戸女学院大学 | 英語教師  |
| 36歳 神戸大学   | 医師 | ♥ 33歳 関西医大    | 医師    |
| 42歳 大阪医科大学 | 医師 | ♥ 32歳 神戸大学    | 客室乗務員 |
| 37歳 大阪大学   | 医師 | ♥ 30歳 武庫川女子大学 | 薬剤師   |
| 33歳 大阪医科大学 | 医師 | ♥ 27歳 神戸薬科大学  | 薬剤師   |

フェリーチェは、個人情報保護を第一に、あえてオーソドックスなスタイルを守り、医療業界を熟知した専任コーディネーターがご本人様のお人柄・ご要望をしっかりと把握し、最適なお相手をご紹介いたします。

### ●入会資格

◇男性25歳～50歳 医師・歯科医師

◇女性20歳～37歳 医師または短大・専門学校卒以上

男女ともに結婚をお考えの独身者の方

※上記条件を原則として、そのほか本クラブの独自の入会審査基準がございます。

## 大阪医科大学関係者様 限定キャンペー

詳しくはお問合せください。



詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

0120-683-156 [www.felice.cc](http://www.felice.cc)

受付時間／10:00～20:00 水曜定休日

フェリーチェ

検索

※「フェリーチェ」で検索してください。

フェリーチェはおかげさまで創立16周年を迎えた。そして、約4000社ある事業者の中で「紹介内容の的確さ」「スタッフのサポート体制」など11項目からなる「顧客満足度の高い会社」2年連続総合1位（オリコン株式会社調べ）との評価をいただきました。

今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

### 無料 親御様向け説明会のご案内

毎月1500件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライムマリッジ株式会社  
[www.prime-marriage.com](http://www.prime-marriage.com)

銀座ラウンジ 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F  
芦屋ラウンジ 兵庫県芦屋市平野町6-16 芦屋ファーラー4F

結婚相手紹介サービス業認証機構より適正な  
サービス事業者として認証付与を受けています。

JMIC  
日本結婚相手紹介サービス協議会

個人情報管理・プライバシー保護には  
細心の注意を払っています。